

令和 6 年度

教育委員会点検・評価報告書

令和 7 年 9 月

登別市教育委員会

目 次

I 教育委員会の点検・評価について	2
II 評価の手法	2
1 点検・評価の対象	
2 実施の流れ	
III 評価結果	3
1 教育委員会の活動状況の概要報告	3
2 重点施策の評価	6
3 重点施策の評定結果	55
IV 点検・評価に関する学識経験者の意見等	58
V 評価のまとめ	60
VI 参考資料	
1 令和6年度教育行政執行方針（61）	
2 教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ（66）	

I 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の改定により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされ、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされた。

登別市教育委員会では、効率的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たしていくため、地教行法に基づき、令和6年度の教育委員会の活動状況の報告と基本方針及び重点項目の主な施策（16項目）について点検・評価を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して「教育委員会点検・評価報告書」としてまとめた。

本報告書を公表することにより、市民の皆様に教育に関する事務の管理及び評価の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ることとする。

II 評価の手法

1 点検・評価の対象

登別市教育委員会の点検・評価は、教育委員会の活動状況の他、令和6年度の教育行政執行方針に位置づけられた施策・事業を点検・評価の対象として実施した。

2 実施の流れ

(1) 教育委員会の活動状況の概要報告

教育委員会の1年間の様々な活動について

(2) 令和6年度の重点施策の管理及び執行状況の評価

- 教育行政執行方針に位置づけられている重点施策を評価した。

点 検 内 容	当該年度の教育行政執行方針の重点内容
取 組 状 況	当該年度内に実施した取組の概要
評 価	取組の実施状況に対する評価
今後の方向性	今後の取組を進める上で課題や対応の方向

(3) 教育行政執行方針における重点施策の評定結果

- 4段階（A～D）で、評価を実施した。

- A：達成しているもの
- B：おおむね達成しているもの
- C：達成見込みであるが一部課題があるもの
- D：達成に向け困難な課題があるもの

(4) 点検・評価に関する学識経験者の意見等

- 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する行政外部の方からの意見、助言をいただいた（令和7年9月29日）。

氏 名	所 属 等
佐 藤 幸 夫 氏	日本工学院北海道専門学校 副校長
斎 藤 俊 之 氏	登別市退職校長会 副会長
吉 野 幸 広 氏	元登別市郷土資料館 館長

III 評価結果

1 教育委員会の活動状況の概要報告

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会は、毎月1回、計12回開催した。

会議では、議案の提案理由や説明が行われた後、各委員からの質問・意見などの審議を経て、いずれも可決、了承された。また、事務局からの情報提供や各種課題、事業の進捗状況、その他事項の報告について、意見交換を行った。

(2) 令和6年度 登別市教育委員会の概要

第1回 会議	4/25 15:30	報告第1号 登別市議会臨時会提出議案に関する意見に係る臨時代理について 情報提供 (1) 令和6年度学校施設の工事計画について (2) 令和6年4月10日時点登別市立学校児童生徒数・学級数調書について (3) 令和6年度登別市立学校主要行事等予定一覧について (4) 学校体育施設スマートロック化事業について (5) 「登別市立図書館の在り方」の検討開始について
第2回 会議	5/30 16:30	報告第2号 教職員人事の内申に係る臨時代理について 議案第1号 登別市タブレット端末等持ち帰り利用規程の制定について 議案第2号 登別市立学校教職員の訓告等に関する規程の制定について 議案第3号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第4号 登別市社会教育委員の委嘱について 議案第5号 登別市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第6号 登別市立図書館協議会委員の任命について 情報提供 (1) スマートフォン等についてのアンケート調査分析について (2) 令和5年度登別市いじめ不登校等の状況について (3) 令和5年度巡回パトロール活動及び街頭指導等の状況について (4) 令和5年度不審者等出没状況について
第3回 会議	6/27 16:30	報告第3号 教育委員会事務局職員の休職発令に係る臨時代理について 報告第4号 令和6年第2回登別市議会定例会一般質問について 議案第7号 令和5年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価に係る学識経験者の活用及び選任について 情報提供 (1) 「第3次登別市スポーツ推進基本計画」の策定について (2) 「第3次登別市文化振興基本計画」の策定について
第4回 会議	7/25 16:30	情報提供 (1) 令和6年度 外国語指導助手の離任等について (2) 登別市における「中学校部活動の地域移行」の状況について (3) 「図書館についての意見交換会」の開催結果について (4) 【郷土資料館特別展】登別温泉へ行ってきました (5) 令和5年度生涯学習事業実績と点検評価
第5回 会議	8/29 16:30	議案第8号 登別市立学校通学区域規則の一部改正について 情報提供

		<ul style="list-style-type: none"> (1) 【幌別中学校・登別中学校】統合後の環境整備等に関する方針の策定について (2) 登別市学校適正配置基本方針の改訂について (3) 令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択について (4) 令和6年度 外国語指導助手の着任について (5) 令和6年度1学期登別市立学校におけるいじめ不登校等の状況について (6) 令和6年度全国学力・学習状況調査に係る結果の概要と指導のポイント
第6回 会議	9/26 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 報告第5号 教育委員会事務局職員の休職発令に係る臨時代理について 報告第6号 令和6年第3回登別市議会定例会一般質問について 報告第7号 登別市議会定例会提出追加議案に関する意見に係る臨時代理について 情報提供 (1) 学校給食で提供している牛乳の代替提供について
第7回 会議 (移動教育 委員会)	10/31 15:00	<ul style="list-style-type: none"> 報告第8号 登別市教育委員会委員の任命について 報告第9号 登別市教育委員会教育長職務代理者の指名について 議案第9号 令和5年度教育行政執行事務の管理執行状況の点検・評価報告の作成について 情報提供 (1) 鬼っ子フォーラムの開催について (2) のぼりべつ文化交流館の廃止方針（案）に係る意見公募（パブリックコメント）の実施について (3) 学校給食センターに関する動きについて
第8回 会議	11/28 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 議案第10号 登別市立学校学校医等表彰について 議案第11号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第12号 登別市立の学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償 に関する条例施行規則の一部改正について 情報提供 (1) 令和7年度登別市二十歳のつどいについて
第9回 会議	12/19 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 報告第10号 教育委員会事務局職員の復職発令及び人事異動に係る臨時代理について 報告第11号 令和6年第4回登別市議会定例会一般質問について 情報提供 (1) 令和7年度教育行政執行方針（案）概要について
第10回 会議	1/29 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 議案第13号 登別市遠距離通学児童及び生徒通学費補助金交付要綱の一部改正について 議案第14号 学校給食費の改定について 議案第15号 登別市立学校体育施設（屋内運動場）開放事業実施要綱の一部改正について 議案第16号 のぼりべつ文化交流館の廃止について 議案第17号 令和7年度登別市教育行政執行方針について 報告第12号 登別市議会臨時会提出議案に関する意見に係る臨時代理について 情報提供 (1) 登別市学校適正配置基本方針（案）に係る意見公募（パブリックコメント）の 実施について (2) 第3次登別市文化振興基本計画（案）に係る意見公募（パブリックコメント） の実施について (3) 第3次登別市スポーツ推進基本計画（案）に係る意見公募（パブリックコメント） の実施について (4) 第4回ピンクシャツ大作戦 In 登別について

(5) 令和6年度小・中学生読書感想文コンクール入選作品集について		
第11回 会議	2/27 15:30	<p>報告第13号 登別市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について</p> <p>議案第18号 登別市文化財審議会委員の委嘱について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和7年度教育行政執行方針について</p> <p>(2) 市内小中学校の令和6年度卒業式及び令和7年度入学式の日程について</p> <p>(3) 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果と分析について</p> <p>(4) 北海道登別明日中等教育学校入学者選考の結果について</p>
第12回 会議	3/27 16:30	<p>報告第14号 令和7年第1回登別市議会定例会一般質問について</p> <p>報告第15号 教職員人事の内申に係る臨時代理について</p> <p>報告第16号 教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について</p> <p>議案第19号 公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定について</p> <p>議案第20号 登別市学校適正配置基本方針の改訂について</p> <p>議案第21号 第3次登別市文化振興基本計画の策定について</p> <p>議案第22号 第3次登別市スポーツ推進基本計画の策定について</p> <p>議案第23号 のぼりべつ文化交流館条例施行規則の廃止について</p> <p>議案第24号 登別市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</p> <p>情報提供</p> <p>(1) 令和6年度コミュニティスクール（学校運営協議会）の実施状況について</p> <p>(2) 令和6年度進路状況について</p> <p>(3) 郷土資料館特別展「はじめまして！」の開催について</p>

(3) 調査活動の実施状況

教育委員会委員による小中学校の教育活動の視察や研修活動の概要

①公開研究会等の視察

- ・綠陽中学校公開研究会 11/22
 - ・若草小学校公開研究会 11/28
 - ・北海道登別青嶺高等学校公開授業 6/20、10/10

②教育ふれあいウィーク

- ・鷺別小学校、緑陽中学校、幌別中学校 10/28
 - ・登別小学校、登別中学校、幌別東小学校、若草小学校、鷺別中学校、富岸小学校 10/29
 - ・富岸小学校、西陵中学校、鷺別中学校 10/30
 - ・幌別西小学校、富岸小学校 10/31
 - ・幌別小学校 11/1
 - ・青葉小学校 11/2

③各種会議・研修会の参加

- ・北海道都市教育長会春季定期総会（苫小牧市）5/15、秋季定期総会（深川市）11/13
 - ・全国都市教育長協議会（長崎県長崎市） 5/9～10
 - ・北海道特別支援教育振興協議会評議員会 6/7（オンライン）
 - ・胆振管内教育長会議 4/10、12/23
 - ・胆振管内教育委員会委員研修会 2/6
 - ・公立高等学校配置計画地域別検討協議会 4/24、7/16（オンライン）
 - ・北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会（北見市）8/22
 - ・北海道公立学校情報機器整備共同調達会議 6/7（オンライン）

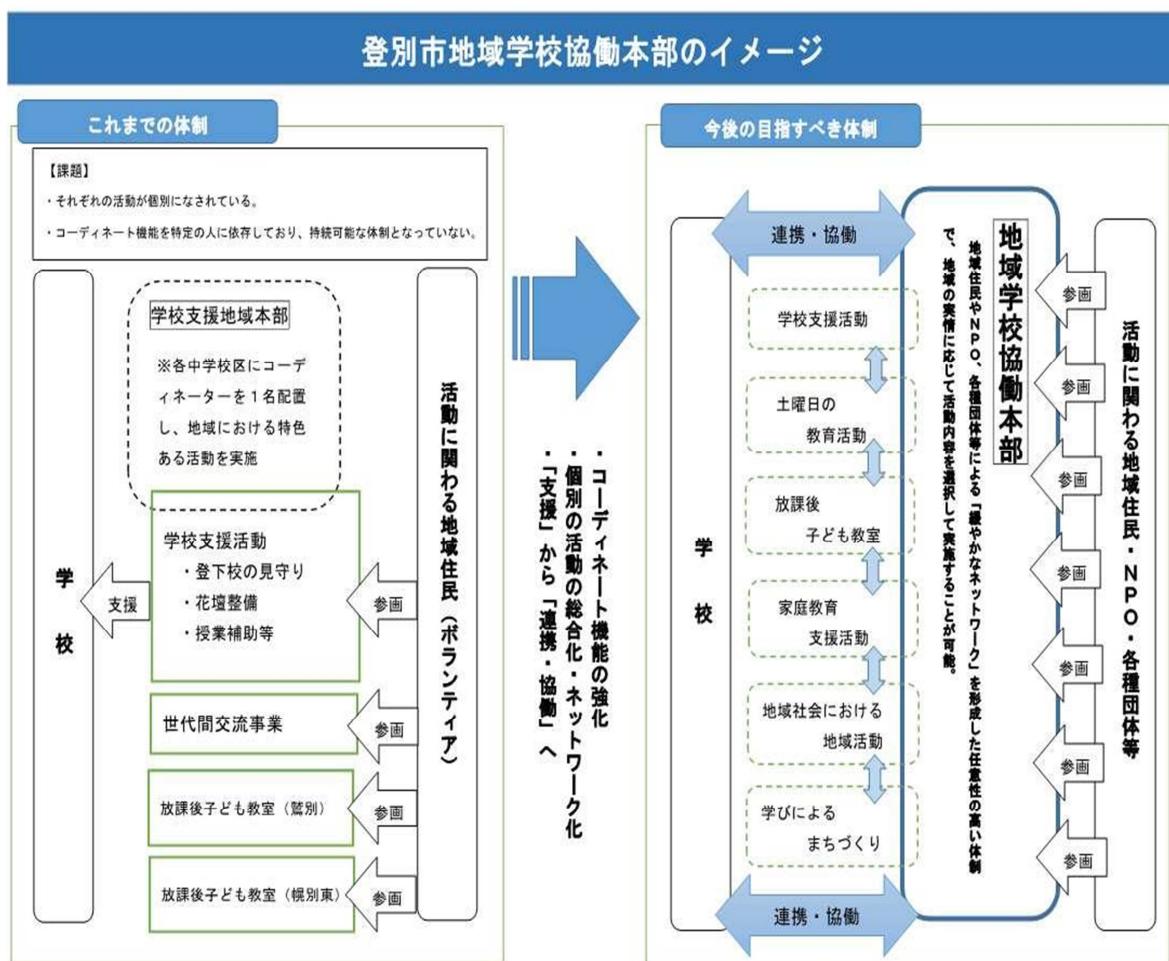
④その他

市内小中学校の入学式及び卒業証書授与式への出席、運動会や体育祭等を参観

2 重点施策の評価

項目	1 地域とともにある学校づくり
点検内容	<p>本市においては、近隣の自治体に先駆けて、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進する中で、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちを育んできた。</p> <p>「地域とつながる創意ある教育活動」を展開するために、学校運営協議会を活用した地学協働を推進するとともに、各小中学校の発想や工夫を活かして、体験的な学習を重視した「ふるさと登別」を知る様々な取組を充実させていく。</p> <p>一方、学校週5日制が導入され、市教育委員会が主導して10年間実施してきた「土曜授業」については、子どもたちや保護者の負担感、部活動の地域移行や教職員の働き方改革の推進など、学校を取り巻く環境が大きく変化している現状を考慮し、全市で統一した実施については見直していく。</p>

取組状況



○学校コーディネーターの配置

- ・地域の実情に応じて段階的に整備し、令和6年度末で11校が配置済みとなっている。

○学校運営協議会の話し合いの内容

	月	日	主な議題（学校経営方針以外）	次年度の方向性
幌 別 中	6	14	本年度の教育活動について 生徒の様子	合同運営委員会を実施し小中連携体制の充実を図る
	12	12	2学期の教育活動 前期学校評価分析 第2回いじめアンケート結果	
	2	26	【校区合同】3学期の教育活動 後期学校評価分析 意見交流	
幌 別 小	8	28	学力向上・基本的生活習慣・豊かな心の育成に関わる取組のあり方	学校統合委員会からの情報提供を受け、熟議を進める
	11	1	学校の取組の様子 統合の進捗について	
	2	26	【校区合同】3学期の児童の様子 学校関係者評価	
幌 別 東	6	18	今年度の取組について 子どもたちの様子について	東小学校の実態を幌小へしっかりと引き継いでいく
	10	29	ふれあいDAY授業参観 学校評価・いじめアンケートについて	
	2	26	【校区合同】学校評価結果の交流 閉校までの行事等について	
西 陵 中	5	16	【小中合同】コミスクの目標、役割分担の確認 生徒の様子について	生徒の姿を見ていただき個別に懇談できる機会をもつ
	12	12	【小中合同】学校祭・職業体験・職場体験 いじめ・不登校状況	
	3	4	【小中合同】交通安全の街頭指導 地域資源を活用した体験活動	
幌 西 小	5	16	【小中合同】コミスクの目標、役割分担の確認 児童の様子について	小中連携事業への協力(CSとの一体化を目指して)
	12	12	【小中合同】学校評価・全国学テ・いじめ調査結果 小中一貫教育	
	3	4	【小中合同】小グループテーマ協議（地域連携・学力向上・不登校）	
鷲 別 中	7	3	暑さ対策について 第1回地域いじめ防止対策委員会結果	小中一貫教育と学校運営協議会の一体化した取組推進
	12	10	給食試食 授業参観 第2回地域いじめ防止対策委員会結果	
	2	28	学校評価報告 小中一貫教育の取組 ピンクシャツデーの取組	
鷲 別 小	8	20	役員選出 学校運営の進捗状況	地域と家庭、学校が一体となった教育活動を進める
	1	21	授業参観 学校運営の進捗状況 学校経営の重点 学校評価の実施	
	3	6	授業参観 学校運営の進捗状況 学校経営の重点 学校関係者評価	
若 草 小	5	17	地域いじめ対策委員会 学校運営協議会の組織体制と活動内容	町内会とPTAがさらに連携を深め子どもたちの健全な育成について一層の充実を図る
	7	19	大津波想定避難訓練 七夕の地域まわり スポットクーラー紹介	
	8	30	2学期の経営の重点 体育館床工事終了後の視察	
	12	13	学校評価について 鷲別中学校区小中一貫協議会について	
	3	7	学校評価結果 今年度の反省 次年度の教育活動	
登 別 中	9	2	登別中学校グランドデザイン 学校生活について	幼保小中の連携を深め望ましい生活・学習習慣の確立
	12	19	【小中合同】保健室から見た子どもたちの様子と学校の取組	
	2	26	今年度の教育活動について これからの教育活動について	
登 別 小	6	27	学力向上プラン 働き方改革 いじめ防止基本方針	幼保小中の連携を深め望ましい生活・学習習慣のため、家庭と地域と一体の取組を推進
	9	26	前期学校評価 全国学力・学習状況調査結果	
	10	29	授業参観を踏まえた子どもたちの様子、学習活動の様子	
	12	29	【小中合同】保健室から見た子どもたちの様子と学校の取組	
	2	27	後期学校評価 全国体力・運動能力・運動習慣等調査・いじめ調査結果	
緑 陽 中	6	6	委員の確認・活動計画 いじめ・不登校の状況 今後の教育活動	望ましい生活・学習習慣の確立に向けた取組
	11	6	学校運営の状況 生徒の様子 いじめ・不登校の状況	
	2	27	今年度の教育活動 生徒の様子 後期学校評価アンケートについて	
富 岸 小	5	20	富岸小のコミスクについて 教育活動に関わって	学校運営の転換期と考え、参観や学校評価等の結果か
	9	24	前期学校評価結果 学習発表会 子どもの安全確保について	
	11	7	交通事故対応 学校課題 学校評価 目指す学校像について	

	3	4	令和7年度目指す学校像について	ら意見を集約
青葉小	5	17	役員の選出 学校経営の概要について	家庭と学校の情報等の共有を考える取組、働き方改革の推進
	7	11	授業参観 1学期の児童の様子 運動会・いじめ対応について	
	11	2	授業参観 2学期の児童の様子 学習発表会・全国学テ結果について	
	2	13	学校評価について 3学期の児童の様子 開校記念日について	

○ふれあいウィーク(10/28～11/2 の 1 週間)

11/1 「北海道教育の日」に合わせて、平成 16 年度から「ふれあいデー」として市民に市内の小中学校を公開してきたが、その取組をさらに発展させ、平成 23 年からは「教育ふれあいウィーク」として、その時期に学校公開のほか講演会や懇談会など各種事業の取組を進めている。学校や地域、保護者が、登別の教育の在り方について考えを深め合う期間として位置付ける。

- ・学校公開（保護者や地域の方、市民への公開）
- ・中学校吹奏楽部定期演奏会 10/20 緑陽中 10/27 登別中 11/10 幌別中
- ・特別支援学級作品展 10/19～25 市民会館 1F 廊下

○鬼っ子フォーラム(11/15)

教職員や保護者、地域住民が登別の教育の在り方を考える「教育フォーラム(令和元年度まで隔年実施)」を開催していたが、令和 3 年度から市内小中学校・高等学校・中等教育学校の代表が一堂に会し、いのちの重さや人としての生き方、人との関わりについて考えを深める「鬼っ子フォーラム」を開催することとした。

評 価	<p>コミュニティ・スクールを導入し 11 年が経過した。年に 3 回程度、学校運営協議会を開催することができたものの、小中合同あるいは幼保小合同での開催を控える中学校区もあった。地域学校協働本部事業は、コーディネーターを中心に、地域住民などの協力を得ながら各種体験活動を実施することができた。</p> <p>各学校に一人配置する予定である学校コーディネーターの選出は、PTA 役員経験者を中心に声掛けを行ったものの、令和 6 年度までの選出を完了することができなかった。様々な機会を捉えて、地域学校協働活動の目的やコーディネーター配置の趣旨を説明する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>本市においては、学校運営協議会と地域学校協働本部の活動を軸として、学校・家庭・地域の連携・協働により子どもたちが自ら未来を切り拓くための「生きる力」を身に付けることができるよう、成長を支えていく。</p> <p>令和 7 年度は、地域と歩む持続可能な教育を実現させるために、各小中学校独自の発想や工夫を生かし、地学協働の取組を継続していく。</p> <p>その中で「ふるさと登別」の豊かな自然や資源にふれる体験的な活動を通して、地域への愛着や誇りを醸成し、学びの中で実感した「ふるさと登別」の魅力を参観日や「教育ふれあいウィーク」など、あらゆる機会で家庭や地域に積極的に発信していく。</p> <p>また、学校コーディネーターの選出に向けた取組を引き続き継続する。</p>

項目	2 確かな学力
点検内容	<p>確かな学力については、タブレット端末を効果的に活用し、子ども一人一人の特性や学習進度、興味・関心等を踏まえた指導方法や指導体制の工夫・改善を進めていく。</p> <p>また、子ども同士や多様な他者との対話を通した学び合い活動をタブレット端末を活用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させていく。</p> <p>さらに、平常時における家庭へのタブレット端末の持ち帰りを推進し、学校での学習と家庭での学習の円滑や接続を図っていく。特に、「全国学力・学習状況調査」の結果から本市の児童生徒の課題となっている「算数・数学」の学習支援として、小学4年生から6年生までを対象に導入している算数学習アプリを学校や家庭学習、鬼っ子算数教室で活用し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図る。また、より良い機能を持つ学習用アプリが新たに開発されているため、どのようなものが子どもの学習内容の定着に適しているのか調査・研究を進めていく。</p> <p>英語教育については、小学5年生から中学3年生を対象に「英語」のデジタル教科書を導入したことから、従来の授業とICTの活用を組み合わせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげていく。また、通常の授業はもちろん、夏休みや冬休みにおいても、児童生徒が1年を通してALTとコミュニケーションをとる機会を設けることにより、日常より英語に親しむような環境づくりを進め、「聞く・話す」活動を充実させていく。</p>

取組状況

○全国学力・学習状況調査（対象：市内小6年生・中3年生）

【調査の概要】

本調査は、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育施策の成果と課題の検証により改善を図るとともに、学校での児童生徒への学習指導の充実や改善等に役立てること、加えて教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施してきた。

令和6年度は、小学校・中学校とも国語と算数数学の2教科に関する調査と、生活習慣や学習習慣等について質問紙調査が行われ、登別市では、小学生309名、中学生231名が参加した。

【教科に関する調査】

- ・小学校の平均正答率は、国語で全道平均及び全国平均と同等である。算数で全道平均及び全国平均を下回っている。
- ・中学校の平均正答率は、国語、数学の2教科とも全道平均及び全国平均を下回っている。
- ・以下、教科ごとの概要

〔国語〕

- ・小学校では、評価の観点「知識・技能」は全国平均と同等であり、「思考力、判断力、表現力等」のうち「話すこと・聞くこと」は全国平均をやや上回り、「読むこと」は全国平均と同等、「書くこと」は全国平均を下回っている。
- ・中学校では、評価の観点「知識・技能」及び「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の全ての領域について全国平均を下回っている。

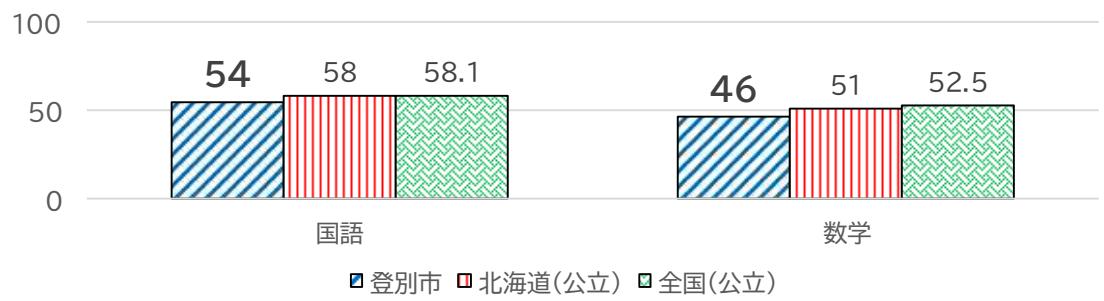
〔算数・数学〕

- ・小中学校とも、評価の観点「知識・技能」、及び「思考力、判断力、表現力」の「数と式」「図形」「変化と数」「データの活用」の領域で全国平均を下回っている。
- ・中学校では、評価の観点「知識・技能」及び「思考力、判断力、表現力」の「数と式」「図形」「関数」の領域で全国平均を下回り、「データの活用」の領域で全国平均をやや下回っている。

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果 【小学校】



令和6年度 全国学力・学習状況調査結果 【中学校】



○各学校の取組に対する支援

①教育課程課題検討委員会の開催

全国学力・学習状況調査の自己採点結果から子どもの状況や課題を校種間で共有するとともに、「学習内容の定着」に向けた取組を推進し、学力向上に結び付けることを目的に実施

- ・第1回：5/21
- ・第2回：12/17

参加者：校長会研修担当、全小中学校教頭、教務主任、学力向上・研修担当等の教諭

②「令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の概要と指導のポイントについて」として本市の全国学力・学習状況調査結果を分析し、結果から考えられる課題や授業改善のポイントをまとめ、市内各学校に周知した。(9/3)

③学習支援専門員の配置と学校支援

- ・配置 教育指導室に学習指導員3名を配置。
- ・取組

- 4月
 - ・全国学力・学習状況調査の実施に向けた「心構え」と「鬼っ子チャレンジテストはじまり号・復習問題（算数）」を作成し、各小学校への配布
 - ・鬼っ子算数教室用教材「鬼っ子チャレンジテスト」（4～6年生）の改善
 - ・「鬼っ子チャレンジテスト」動画解説資料の作成
 - ・「鬼っ子算数教室」実施に向けた準備（各校の年間実施予定調整及び年間指導計画の策定）
 - ・「鬼っ子チャレンジテスト（1学期分）」作成と教育委員会ウェブサイトへの掲載
- 5～7月
 - ・「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）

- ・鬼っ子算数教室用教材「鬼っ子チャレンジテスト」（4～6年生）の改善
 - ・「鬼っ子チャレンジテスト」動画解説資料の作成
 - ・「鬼っ子チャレンジテスト（2学期分）」作成と教育委員会ウェブサイトへの掲載
- 8～12月
- ・「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）
 - ・全国学力・学習状況調査結果（算数）の分析及びチャレンジ問題への反映及び
 - ・令和6年度用「鬼っ子チャレンジテスト」の問題・解答作成
 - ・全国学力・学習状況調査（算数）の調査結果をもとに、正答率の低かった設問の動画解説資料を作成
 - ・「鬼っ子チャレンジテスト（3学期分）」作成と教育委員会ウェブサイトへの掲載
- 1～3月
- ・「鬼っ子算数教室」の実施（幌別東小以外の7小学校）
 - ・令和6年度「鬼っ子算数教室」成果と課題作成、報告
 - ・登別市児童の課題を踏まえた、次年度に向けた学習教材の改善等
 - ・令和7年度「全国学力・学習状況調査」実施に向けた「鬼っ子チャレンジテストはじめ号」の作成

○鬼っ子算数教室実施状況

富岸小学校	予定 10 回	→	実施 9 回	若草小学校	予定 10 回	→	実施 9 回
幌別小学校	予定 12 回	→	実施 11 回	幌別西小学校	予定 11 回	→	実施 11 回
鷺別小学校	予定 10 回	→	実施 8 回	青葉小学校	予定 10 回	→	実施 9 回
登別小学校	予定 10 回	→	実施 10 回				
◆ 登録指導者数			63 名				
◆ 参加指導者数（延べ人数）			432 名				
◆ 登録児童数			第4学年 30名 第5学年 58名 第6学年 48名				
◆ 参加児童数（延べ人数）			第4学年 255名 第5学年 471名 第6学年 389名				

（1）登録児童生徒数・経年比較

学校名	若草小			登別小			富岸小		幌別小		鷺別小			青葉小		幌別西小		
学年	4	5	6	4	5	6	5	6	5	6	4	5	6	6	4	5	6	
H26	-	23	16	-	16	23	24	21	22	11	-	-	-	-	-	-	-	
H27	-	19	17	-	25	18	22	38	20	25	-	-	-	-	-	14	9	
H28	-	22	11	-	11	20	16	23	26	15	-	26	35	24	9	13	11	
H29	-	11	8	-	23	14	43	11	16	9	-	27	28	27	30	14	6	
H30	16	10	4	-	18	13	32	19	9	11	-	16	16	23	29	12	13	
R元	15	14	6	-	25	13	40	61	17	8	-	17	12	22	26	14	10	
R2	7	5	13	-	-	-	19	24	7	10	-	9	13	17	14	6	10	
R3	11	5	3	-	8	12	15	18	16	4	-	10	8	19	19	16	5	
R4	11	9	4	-	5	16	12	12	9	9	-	5	7	6	11	6	12	
R5	12	8	7	-	6	7	10	10	15	8	14	7	4	7	6	4	6	
R6	16	11	5	6	8	6	10	8	10	11	6	6	4	8	10	2	5	

（2）実施の形態

- ・幌別東小学校は、校区住民が「幌別東小学校区放課後子ども教室」を運営しており、その場へ学習問題を提供するのみとなっている。

- ・中止となった場合は、予定した学習問題を学校から対象児童へ渡し、家庭学習等で取り組むこととした。若干名ではあるが、後日学習指導員に提出した児童が見られた。
- ・実施時は、学校管理職及びコーディネーターの協力の下、会場の準備や後片付け等を行った。
- ・実施時間中は、各校とも基本的に職員会議や研修等を行っているが、学級担任や管理職が学習の様子を参観することもある。

(3) 成果と課題

【成 果】

- ・学習内容は既習事項の復習である。指導者のアドバイスや児童間での学び合い又は解説資料 (Classroom掲載) の閲覧により、既習内容の定着を図ることができた。
- ・指導形態は、定着度に応じた個別指導を中心であり、理解に時間要する児童に対しては、指導者による1対1のきめ細かな指導を行い、児童の自己解決力を高め、自力で問題を解けた実感を味わわせるために効果的な取組となっている。
- ・ある学校の算数教室最終日に教頭が「算数教室に通つてから、授業が分かりやすくなった人は?」と児童に尋ねると、5~6人が挙手する様子が見られた。
- ・「鬼っ子チャレンジテスト」は、毎年見直しを図り、児童が算数的な思考、判断、表現を駆使する問題を取り入れている。算数教室での個別指導の際には、問題を解決するための考え方を述べさせ、思考過程を意識させるようにしている。

【課 題】

- ・同一校においても、学年によって参加児童数に大きなばらつきが見られる。児童の他の習い事との重複だったり、担任による児童に対する働きかけの違いだったりすると考えられるが、鬼っ子チャレンジテストの有効活用を図るためにも、各校にはより積極的な児童への勧誘をお願いしていく。
- ・算数教室の回を重ねるごとに、雰囲気への慣れが生じ、徐々に学習意欲が低下し、指導ボランティアの方に失礼な振る舞いをしてしまう児童が、各校で数名程度見られる。個々の学力に応じた学習問題の提示方法や取り組ませ方に留意する必要があると感じている。また、各校に対しては、算数教室実施のねらい等について、児童へ十分な説明をお願いしたい。
- ・各学期の鬼っ子チャレンジテストは、登別市教育委員会のウェブサイトに掲載しているので、長期休業中における家庭学習の一環として有効活用が図られるよう、各校に働きかけていく。併せて、令和7年度から導入したAIドリルの有効活用を図る必要がある。
- ・指導ボランティアの高齢化や、学校ごとに指導ボランティア数や参加率に差異があり、今後の運営に不安を感じる。学校運営協議会等を通じて、現状の理解を図る必要がある。
- ・これまで学習指導員には退職教員があたっていたが、教職員の定年退職制度の改正に伴って退職年齢が上昇していることから退職教員の確保が難しくなってきている。そのため、「鬼っ子算数教室」の運営の在り方を見直す必要がある。

○各学校の朝読書と図書ボランティアなどの活動状況

学校名	朝読書	図書ボランティア	その他
幌別小	毎朝10分	貸出返却・ALT読み聞かせ 図書館掲示・装飾	図書委員の読み聞かせ、 おはなしぱけっとによる読み聞かせ
幌西小	月水金10分	読み聞かせ・環境整備・貸出返却 読書活性化のためのお楽しみ企画	図書だよりの発行、読書通帳、 図書委員による学年ごとのおすすめ本紹介・委員による毎日の貸出業務
鶩別小	月~水20分	環境整備・新刊紹介・図書便り発行	図書委員によるおすすめの本コンクール

		学級文庫の設置、児童作品の展示	ル、読書啓発活動、 お話しぽんによる読み聞かせ
登別小	火木15分	読み聞かせ(状況に応じて年複数回実施)、図書館環境整備	図書委員による貸出業務、貸出拡大のためのイベント計画・実施
富岸小	火曜10分	月2回程度、朝の読み聞かせ(6月から実施)	図書館環境整備
幌東小	毎朝10分	読み聞かせ(3回)・図書室環境整備・しおりのプレゼント	目標設定、読書ノート、文化委員による読み聞かせ
若草小	火・木10分	環境整備・新刊紹介 P T A図書スタッフによる読み聞かせ(年間3回)	なかよし会図書委員による読み聞かせ
青葉小	木曜10分	飾付・環境整備 朝の読み聞かせ(毎月1~2回程度) 長期休業中図書室開放日の読み聞かせ	図書委員による読み聞かせ(動画配信)
幌別中	毎朝10分	活動なし	委員会補助
鷺別中	実施せず	新刊紹介・テーマコーナー・環境整備・図書館企画(週2~3回図書館司書対応) 3/6 3年生図書パネルシアター	図書館環境整備、新刊の紹介 図書委員会による学級文庫の入替 図書ボランティアの読み聞かせ
登別中	毎朝10分	活動なし	図書委員会による運営 図書委員会主催ビブリオバトル実施
西陵中	実施せず	活動なし	<文化専門委員の活動内容> 貸出返却作業 文化専門委員による昼の放送を使った読み聞かせ(計15回) 学級文庫入れ替え(2か月に一度) おすすめ本紹介文展示(1学期) おすすめ本のポスター作成(3学期) 図書館内イベント開催 ・6月 空気砲当てゲーム ・7月 宝くじガチャ ・10月~11月 本を借りて千本引きをしよう
緑陽中	実施せず	活動なし	新刊の紹介

○学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議

1 日 時 6/28

2 内 容 図書の修理に関する実技研修と情報交換、図書館流通センター児童書展

○登別市学校司書連絡会議~年7回実施(①5/31 ②7/18 ③9/26 ④11/29 ⑤1/6 ⑥2/18 ⑦3/28)

1 ねらい 市内小学校に配置されている学校司書の連携を図り、互いの知識を共有することにより、
さらに有効な学校図書館整備の充実を図る。

2 内 容 活動内容の交流・図書館だよりなどの意見交換・本の整理や選書に関する情報交換・読み

聞かせに関する情報交換 その他

○長期休業中の学校図書館の開放～（小学校及び司書の配置がある中学校）

読書活動推進の一環で、休業中の日時を設定し児童生徒に対し学校司書による貸出業務等を行った。

＜利用状況＞夏休み 119名 貸出冊数 149冊

冬休み 128名 貸出冊数 137冊

○小学校への団体貸出

23学級 470冊（「小学校の特別支援学級への貸出」及び「調べ学習等学級貸出」の合計）

○小・中学生の読書感想文コンクール

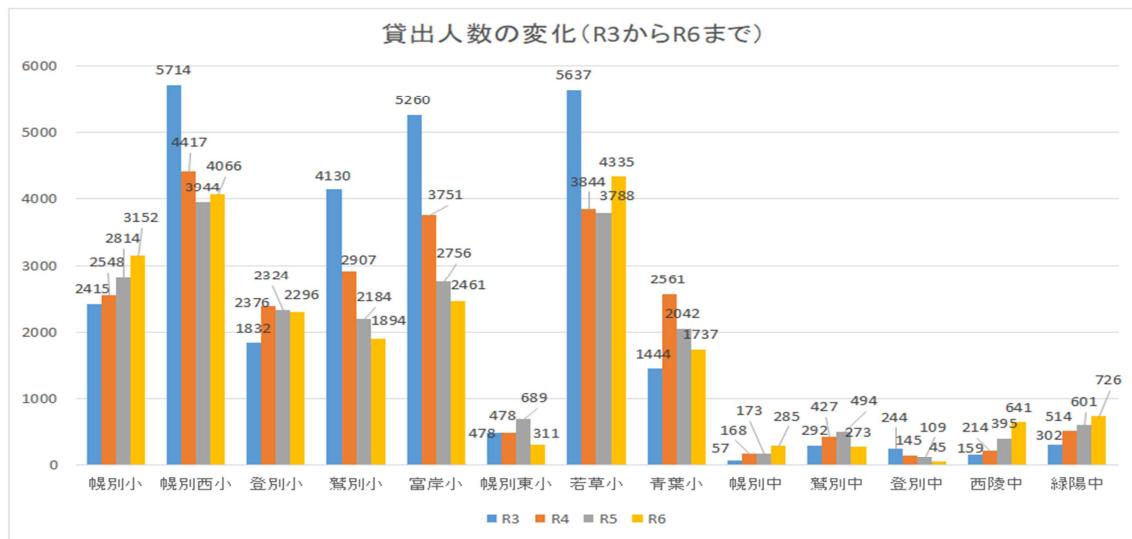
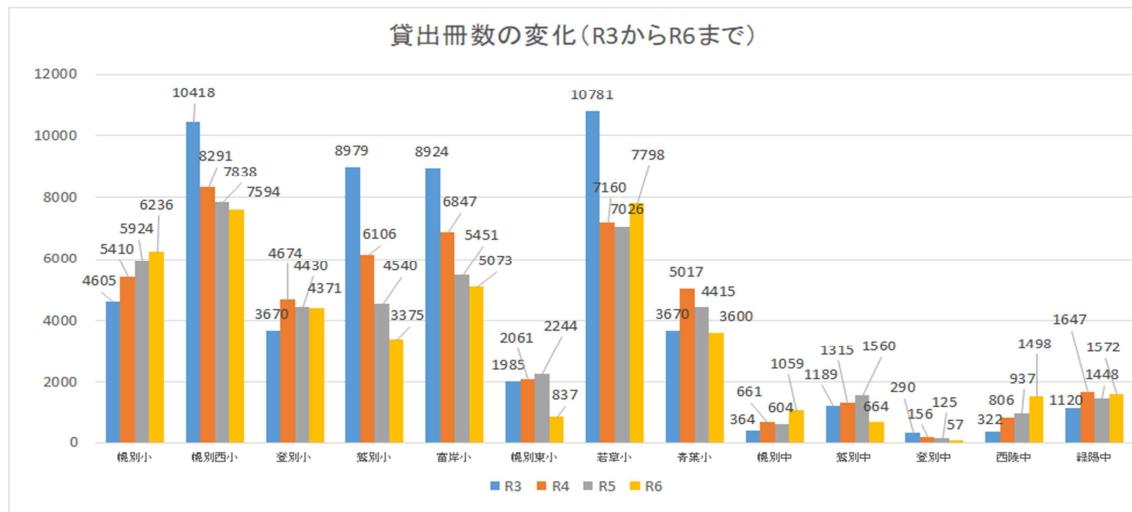
読書感想文コンクールの応募点数を令和5年度から小学校も中学校に合わせ、1学級あたり3点以内とした。応募件数 138作品（入選 29作品）。

○学校図書館担当職員（学校司書）の配置

図書館司書等の有資格者を段階的に2校に1人の割合で配置した。

- ・H25～H26年度 2人を4校に配置（幌別西小、青葉小、鶴別小、若草小）
- ・H27年度以降 4人を8校に配置（上記に加え、登別小、幌別東小、幌別小、富岸小）
- ・R3～R4年度 モデル事業として中学校に司書を1名配置（緑陽中・西陵中兼務）
- ・R5～R6年度 市内で司書を6名配置。（1人で2校担当。登別中以外配置）

○貸出冊数と貸出人数の変化



英語教育の取組状況

- ・富岸小学校と幌別中学校が「生徒の英語力向上実践事業」の指定を受け、授業力向上に努めた。
- ・9月27日に地域連携研修会を開催し、授業公開と協議及び釧路市教育委員会「外国語教育アドバイザー」による講演会を実施した。

中学校においても、円滑な学校間接続の観点から、中学校の外国語科教員の系統的指導に対する意識化が図られるとともに、従前より本市で取り組む小中一貫教育の機能を最大限活用し、専門性を発揮した授業が行われ、義務教育9年間を見通した英語教育が一体的に展開された。特に英語専科を活用した外国語活動や外国語が効果的に行われている。

- ・小学校1・2年では、年間10時間程度外国語活動として実施する予定になっている。

＜参考：ALTの小中学校年間派遣実績＞

- ・小学校への年間派遣回数～478回（昨年度491回）
- ・中学校への年間派遣回数～249回（昨年度265回）
- ・長期休業期間中にALTを派遣した学校数 6校（昨年度7校）

※夏季休業期間は、ALT交代のため実施せず。

評価	<p>全国学力・学習状況調査において、小学校の平均正答率は、国語が全国平均と同等、算数が全国平均を下回った。中学校は、国語・数学とも全国平均を下回った。</p> <p>質問紙調査結果から、「授業でタブレット端末を毎日活用する」に対し、肯定的な回答の児童生徒の割合が全国平均を上回り、学校での活用が進んでいることが伺える。</p> <p>また、「話合いで考えを深める・新たに気付く」、「学習内容を振り返り、次へつなげる」に対し、肯定的な回答の児童の割合は全国平均を上回り、生徒の割合は全国平均と同等のため、意欲をもち、自分で計画を立て、見通しをもちながら学習していることが伺える。</p> <p>算数・数学の学習支援について、学習アプリの活用や鬼っ子算数教室の幌別東小学校以外での実施などにより小学校算数は約6割の平均正答率を確保することができ、中学校数学科について前年度よりも全国平均との差が縮小した。</p> <p>英語教育について、冬季休業期間にALTを各小学校に派遣し、英語によるゲーム等を行ったことにより、各校児童が英語に親しむ環境づくりを進めることができた。</p>
今後の方向性	<p>確かな学力の定着については、児童生徒一人一人が主体的に自己調整しながら学びを進められるよう、各学校において指導方法や指導体制を工夫し授業改善を推進していく。</p> <p>算数・数学については、デジタル教科書やAIドリル等を効果的に活用し、個々に応じた学習レベルの問題に取り組んだり、反復演習をしたりするなど一人一人の学習状況を把握するとともに、子どもが自ら学ぶ学習を実施する。</p> <p>英語教育については、デジタル教科書や外国語指導助手ALTを活用することで、普段の授業に加えて長期休業中の学校への派遣やイベントを開催する等により児童生徒が日常より英語に慣れ親しむことができる機会を設け、より英語への興味・関心を高め、観光に訪れる外国人に対して積極的にコミュニケーションを図る意識や英語力を身に付けることを目指す。</p> <p>望ましい学習習慣の確立については、本市の児童生徒の意識調査から「授業はよくわかる」と8割以上が回答する一方で、家庭学習の時間が不足している現状が見受けられるため、日頃からタブレット端末を持ち帰り、自律的な家庭学習の定着に向けた取組を継続する。</p>

項目	3 豊かな人間性
点検内容	<p>豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通して、子どもの意見や人権を尊重し、よりよい人間関係を築きながら、自己存在感や自己有用感を育む取組を続けていく。</p> <p>また、キャリア教育を推進するため、地域資源や地域人材を活用した体験活動を重視し、「ふるさと登別」のよさを知り、理解を深める教育活動に努める。</p>

取組状況

○自然体験や社会体験、ボランティア活動等、豊かな心を育む体験活動

幌別小	<p>通年 全学年による学級園を中心とした栽培活動 3年生による花壇への花の移植、草取り</p> <p>通年 栄養教諭による食育指導(全学年)</p> <p>4/23 交通安全 Week 全学年対象(トラック協会の協力) 自転車巻き込み実演、死角体験</p> <p>5/16 租税教室 6年 室蘭税務署から広報官を招き、税金のない世界のアニメを視聴することで、税金の大切さについて理解を深めた。</p> <p>6~9月明治、ヤクルト、日本醤油協会から講師を招いての食育指導(全学年)</p> <p>6/25 縄文出前講座(6年) 市学芸員から、登別周辺の縄文人の食生活についての話を聞き、本物の土器や石器を触ることで、縄文文化について、興味・関心を高め、理解を深めることができた。</p> <p>6/28 ふれと出前講座(5年)宿泊学習の事前学習として、NPO法人モモンガくらぶから講師を招き、鉱山町の歴史や鉱山町でとれる岩石、鉱山町付近に生息する動物などについて理解を深めた。</p> <p>7/9 2年生 世代間交流 昔の遊び体験 教育委員会社会教育G・地域の方が協力</p> <p>9/20 3年温泉入浴体験 登別地獄谷や温泉街を散策し、施設見学や体験を通して、地元の観光業の中心である登別温泉について理解を深めた。</p> <p>9/28 乗馬体験(地域学校協働本部事業)</p> <p>10/25 4年総合 見学学習(ウポポイ) 社会科や総合的な学習でアイヌ文化について事前学習を行った。ウポポイ見学では、アイヌ文化の歴史や文化の多様性に気付き、深い学びにつなげることができた</p> <p>10/29 薬物乱用防止教室(5・6年 講師:室蘭警察署) 犯罪の現状について講話を受け、トラブルに巻き込まれないために気を付けるべきことについて理解を深めた。</p> <p>11/1 スマホ・ケータイ安全教室(全学年) 講師:KDDI 携帯電話の使用上のマナーや危険性、問題点を学び、正しい使い方について学んだ。</p> <p>11/12 5年総合 認知症キッズセンター養成講座 地域包括支援センター愛桜(あおい)から講師を招き、地域の現状や認知症について学び、認知症患者をサポートすることの大切さについて理解を深めた。</p> <p>11/18 5年総合 福祉出前講座・あいサポート講座(講師来校) 視覚に障がいのある方を講師として招き、交流を通して、介助など自分たちにできるサポート体験をし、理解を深めた。</p> <p>11/22 邦楽鑑賞会 6年(登別三曲協会協力)</p> <p>11/25・27 3年社会科見学(ドーピー建設工業見学) 「ドーピー建設工業」の工場見学を通して、働く人たちの知恵や工夫・苦労について理解を深めた。</p> <p>1/21 6年卒業制作 健千窯から講師を招き、陶芸体験を行った。制作した作品が卒業記念</p>
-----	--

	<p>品となった。</p> <p>2/5 スキー学習(5・6年)→保護者・地域ボランティアの協力の下、サンライバスキー場で実施。</p> <p>2/6 2年生雪遊び(緑ヶ丘公園)</p> <p>2/7 1年生雪遊び(緑ヶ丘公園)</p>
幌西小	<p>学級園等での栽培活動(全学年)</p> <p>4/17 交通安全教室 5/8 租税教室(6年) 6/26 縄文出前講座(6年)</p> <p>5/29, 7/8 お迎え訓練(悪天候や野生生物への対応を想定した引き渡し訓練)</p> <p>7/12 人権教室(2・4年) 室蘭法務局</p> <p>9/3 11/14 栄養教諭食育授業(2・4年)</p> <p>9/17, 18 ドーピー建設工業工場見学(3年)</p> <p>9/20 遠足(1-4年) 6/19, 11/13, 1/22 ふれあい・おたすけ清掃</p> <p>10/2 キウシト湿原事前学習(2年、N P O 法人キウシト湿原)</p> <p>10/9 キウシト湿原現地学習(2年)</p> <p>10/3 見学学習(4年) ※ウポポイ</p> <p>10/10 温泉入浴体験</p> <p>10/31 マンドリン鑑賞会(3年)</p> <p>11/14 5年総合 福祉出前講座・あいサポート講座(講師来校)</p> <p>12/9 1年生活 富士保育所との交流</p> <p>1/24 2/7 川上公園校外学習(1年) 1/31 英検Jr(4年)</p> <p>2/5 川上公園校外学習(2年) 2/14 スキー学習(5・6年)</p>
鶩別小	<p>4/9 なかよし登校～12日</p> <p>7/16 あいさつ運動(児童会)</p> <p>6/18 租税教室(6年)</p> <p>6/20 トラック協会による交通安全教室</p> <p>7/10, 11 ふわれすと鉱山自然体験学習(5年)</p> <p>9/18 世代間交流(1年)</p> <p>9/19 ウポポイ、クリンクルセンター見学学習(4年)</p> <p>9/24 パロマ工場社会科見学(3年)</p> <p>10/1 温泉入浴体験 カント・レラ見学学習(3年)</p> <p>11/20 文化芸術による子供育成推進事業(6年)</p> <p>11/29 福祉学習(5年)</p> <p>11/18 食育指導(3年)</p> <p>11/21 食育指導(4年)</p> <p>12/4 福祉学習(5年)</p> <p>12/6 福祉学習(5年)</p> <p>1/17 スキー学習(5・6年)</p> <p>2/26 ひなわし委員会によるピンクシャツデーの取組</p> <p>通年 学級園での栽培活動(全学年) 通年 ベルマーク回収</p> <p>通年 ひなわしの木へのメッセージ掲示(児童会)</p>
登別小	<p>学級園等での栽培活動(全学年)</p> <p>4/27 サケの稚魚放流(登別さけ・ますふ化場) 地域支援本部事業</p> <p>4/30 交通安全青空教室(全学年) 登別市交通安全協会</p> <p>5/8 ふるさと農園でジャガイモの植え付け(2年) (地域ボランティア参加)</p>

	<p>不審者対応訓練（全学年）・・・令和6年は実施なし（隔年実施）</p> <p>7/22 認知症キッズサポーター養成講座（5年）</p> <p>8/24 OMB（おにっこマーチングバンド）地域行事参加（5・6年）地獄まつり</p> <p>8/24 ふるさと農園収穫祭（2年）地域ボランティア参加</p> <p>9/27 OMB地域行事参加（4・5・6年）わくわく広場のぼりべつ</p> <p>10/1 温泉入浴体験</p> <p>10/29 スマホ安全教室（全学年）</p> <p>10/30 世代間交流（1年）地域ボランティア参加</p> <p>10/31 ウポポイ（民族共生象徴空間）見学（4年）・白老町立虎杖小との交流</p> <p>11/25 OMB定期演奏会（4・5・6年 保護者参観）</p> <p>12/16・17 出前福祉講座（3・4年）登別市社会福祉協議会</p> <p>1/21（3・4年）、1/24（5・6年）、1/28（3・4年）、2/3（5・6年）、2/10（1・2年） スキー学習</p> <p>1/30 豆まき集会（PTA・地域ボランティアによる）</p> <p>3月 いじめ撲滅に関する標語作成と表彰（全学年）</p>
富岸小	<p>通年 玄関ホール・各教室での飼育活動</p> <p>春～秋 花壇や学年園、生活科での栽培活動</p> <p>1・2学期 家庭科裁縫学習にて地域人材を活用補助を行う</p> <p>6・7・11・12・2月 児童会活動によるいじめ防止のためのあつたか富岸小運動</p> <p>5/15 租税教室 6年</p> <p>7/17 縄文出前講座 6年</p> <p>7/17 食育教室 6年</p> <p>8/30 邦楽鑑賞会 6年</p> <p>9/3 芸術鑑賞（演劇鑑賞）</p> <p>9/4 栄養教諭食育授業 5年</p> <p>9/5 自分を大切にする授業 5年</p> <p>9/10 栄養教諭食育授業 2年 福祉（聴覚障害）出前授業 4年</p> <p>9/12 温泉入浴体験</p> <p>9/17 福祉（視覚障害）出前授業 4年</p> <p>9/18 キウシト湿原学習 3年</p> <p>10/3 心に響く道徳の授業 5年 ※吉里 演子さん来校</p> <p>10/25 温泉入浴体験 3年</p> <p>11/12 ウポポイ見学 4年</p> <p>11/16 PTA富岸小祭り</p> <p>1/30 認知症サポーター養成講座 5年</p> <p>2/4 郷土資料館見学学習 3年</p> <p>2/8 PTA餅まき</p> <p>2/19 スキー学習 5年</p> <p>2/21 スキー学習 6年</p> <p>2/25 人権教室 4年</p>
幌東小	<p>児童会による「いじめをなくすための取組」「あいさつ運動」</p> <p>学級園を中心に栽培活動と学級花壇のお世話（5～10月）</p> <p>郷土芸能「幌別駒踊り」の継承（全校児童）</p> <p>8～11月に月1回練習 12/7 幌別地区市民演芸会参加（全校児童）</p>

	<p>5/14 6年 租税教室 11/14 3年 図書館見学 9/4 4年 済水場見学</p> <p>7/5 4年 認知症サポート授業 3年 郷土資料館 見学 (登別のあゆみ)</p> <p>9/6 10/1 4年 福祉出前講座</p> <p>9/10 3年 ドーピー建設工業見学</p> <p>9/17 3年 温泉入浴体験、のぼりべつ酪農館見学</p> <p>10/7 1・2年と5・6年の食育 (株明治)</p> <p>10/24 3年 人権教室</p> <p>10/28 3年世代間交流「ふれあい集会」(地域お年寄りとの交流)</p> <p>11/26 4年 ウボボイ見学</p> <p>1/17 3年 消防署見学</p> <p>2/4 5・6年 スキー学習</p> <p>2/7 6年 陶芸体験</p>
若草小	<p>通年 なかよし (児童会) 会によるリングプル回収</p> <p>通年 学級・学年で昆虫等を飼育することにより生き物と触れ合える場としている</p> <p>4/24 町会下校指導: 出会いのつどい (月2回 第1・第3水曜日) 1・2年の下校を引率してくれる地域の方々とのふれあいの場</p> <p>5/24 租税教室 (6年)</p> <p>5/15 ふれあい農園 (じゃがいもの植栽 1・2年)</p> <p>6/19 縄文出前講座 (6年) 10/24 食育授業(栄養教諭 1年)</p> <p>6/21 遠足 (1~4年)</p> <p>7/4 世代間交流 (2年)</p> <p>7/8 食育授業(カルビー 4年)</p> <p>7/16 食育授業(ヤクルト 3年)</p> <p>7/11, 19 福祉出前講座 (5年)</p> <p>7/18 見学学習 (郷土資料館、クリンクルセンター 4年)</p> <p>7/22 見学学習 (登別郵便局 2年)</p> <p>8/26 2年食育授業 (明治)</p> <p>9/10~11 ふれあい学習 (5年)</p> <p>9/15 見学学習 (3年 コープさっぽろ)</p> <p>9/20 3年キウシト湿原学習</p> <p>9/21 ウボボイ見学 (4年)</p> <p>10/2 温泉入浴体験 (地獄谷、カント・レラ 3年)</p> <p>10/8 食育授業(栄養教諭 5年)</p> <p>10/17 芸術鑑賞 (6年 能・狂言)</p> <p>10/16 見学学習 (三好製作所、NHK放送局 5年)</p> <p>11/19 認知症サポート養成講座 (5年)</p> <p>11/25 人権教室 (2・4年)</p> <p>12/12 食育授業(メグミルク 6年)</p> <p>1/31 邦楽鑑賞会 (6年)</p> <p>1/23 福祉体験講座 (5年)</p> <p>2/7 5・6年スキー学習</p>
青葉小	<p>通年 リングプル回収 (車いすへの交換活動、児童会活動)</p> <p>通年 たらたら製鉄学習「総合的な学習の時間」(5年生)</p> <p>通年 キウシト湿原学習「総合的な学習の時間」(3年生)</p>

	<p>4/23 交通安全教室（全学年） 5/10 ふれあい農園（2年生） ジャガイモ植え</p> <p>5/7 租税教室（6年生）</p> <p>5/16 キウシト湿原の会の方による出前授業 3年生</p> <p>7/11 福祉学習 出前授業（視覚障害者を招聘）…4年生</p> <p>9/5 出前授業（車いす体験など）…4年生</p> <p>9/19 キウシト湿原での自然体験学習 3年生</p> <p>9/25 見学学習（4年生）白老ウポポイ</p> <p>10/3 温泉入浴体験</p> <p>11/20 認知症サポーター養成講座（5年生）</p> <p>1/31 スキー学習</p>
幌別中	<p>通年 毎定期テスト1週間前より、「携帯・スマホ制限期間」を設定（2小学校とも連携） 社明運動や人権、男女共同参画に係る作文コンクールや書道展への出品</p> <p>4/24 校外学習（1年 ふおりすと鉱山における自然体験学習）</p> <p>7/9 D B A集会（いじめ撲滅集会）</p> <p>7/17 ボランティア局地域清掃</p> <p>7/18 職場体験学習</p> <p>7/22 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員</p> <p>9/20 学校祭において、行灯行列を実施</p> <p>9/25 「SOSの出し方教室」実施</p> <p>10/3 すばる学級校外学習（洞爺湖財田、科学館等）</p> <p>11/19 認知症サポーター養成講座（2年 講師：登別市地域包括支援センター職員）</p> <p>11/28 校内主張大会</p> <p>12/17 保健指導（性の指導）（3年 講師：happymama bell 代表）</p> <p>12/19 1年生冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員</p> <p>12/20 3年生冬休み前啓発集会 講師：人権擁護委員</p> <p>12/23 2年生冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員</p> <p>1/28 保健指導（性の指導）（2年 講師：登別市スクールカウンセラー）</p> <p>1/28 保健指導（性の指導）（1年 講師：登別市保健師）</p>
鶩別中	<p>4/12 3年による通学路清掃 10/2 1・2年による通学路清掃</p> <p>5月 花壇の土おこし</p> <p>6月 花壇の花苗植え（ボランティア部、特別支援学級）放課後等を活用</p> <p>5/20 1年生SC道徳（援助希求的態度の育成）</p> <p>6/3～6/21 11/5～11/29 生徒会生活向上週間 各委員会の取組実施</p> <p>6/5 登別少年の主張大会全校参加</p> <p>6/10 3年生SC道徳（ストレス対処能力の育成）</p> <p>6/20 道新ジュニアクラシック全校で鑑賞</p> <p>7/19 携帯安全教室（室蘭警察署）</p> <p>10/4, 7, 8 3年保育実習（鶩別保育所）</p> <p>10/17 ウポポイ見学（1年）</p> <p>10/18 命の授業 室蘭警察署経由 交通被害者協会から講師</p> <p>11/7 1年地域探索（ふるさと学習講演会）</p> <p>11/8 生徒会呼びかけによるボランティア活動（鶩別海岸のごみ拾い活動）</p> <p>11/22 3年生租税教室（室蘭税務署）</p> <p>11/28 校内主張大会</p>

	<p>1/24(3学年) 1/28(2学年) 2/7(1学年) 性教育講話会(性教育)</p> <p>2/26 全市一斉ピンクシャツデーへの取組(実行委員会啓発動画視聴も含む)</p> <p>3/6 3年薬物乱用防止講座(室蘭警察署)</p> <p>ギター・マンドリン部</p> <p>6/22 地域演奏(鶩別神社祭)</p> <p>7/31 ギター・マンドリン部演奏(鶩小:ひなわしメート)</p>
登別中	<p>7/1 1年 豊浦、洞爺湖有珠山ジオパークでの見学学習</p> <p>7/19 熊舞ヌプル公演</p> <p>7/20 雅楽鑑賞・体験教室(公益社団法人北之台雅楽アンサンブル)</p> <p>8/24 地獄まつり参加 熊舞披露、鬼みこし、吹奏楽演奏実施 外国人観光客に向けて英語で紹介</p> <p>8/29 生徒会主催いじめ撲滅集会</p> <p>8/30 携帯・スマホ安全教室(KDDI)</p> <p>9/27 校下の清掃奉仕活動(町内クリーン作戦)による地域の環境美化</p> <p>10/17 職業体験学習(校区6事業所)</p> <p>10/29 ふれあいデー 1年:職業講話(勝間広靖氏) 2年:認知症サポーター養成講座(地域包括支援センター) 3年:薬物乱用防止教室(保護司会)</p> <p>12/10 思春期教室(性教育講座)妊婦体験</p> <p>12/13 熊舞引継式</p> <p>2/26 ピンクシャツ大作戦</p> <p>3/18 お茶の間会議開催(登別市社会福祉協議会)</p>
西陵中	<p>6/7 事前アンケート、生徒会執行部に「いじめ防止」のためのスローガン考案依頼</p> <p>6/17 「いじめを考える会」について、全校協議会を開催し、アンケートのまとめ、スローガン、学級の意見を発表</p> <p>7/4 1年生ウポポイ見学</p> <p>7/5 全校道徳「いじめ撲滅宣言」行動宣言読み上げ、My Action Card の記入</p> <p>7/19 1年生自然体験学習(洞爺湖ビジャーセンター、西山火口、壮瞥町役場、トマト狩り)</p> <p>10/2 1年生職場体験学習～工学院 2年生職場体験学習 浜田金属板金、トヨタカローラ、望月製麺所、イオン北海道、白菊幼稚園、富澤板金工業、ベルン、北海道銀行、川田自動車工業、ブックオフプラス、すずかけ、常口アトム、遠田建設、訪問介護事業所暖ーはるー</p> <p>10/3 2年生認知症サポーター養成講座</p> <p>11/5 JICA 出前講座(マラウイ共和国派遣経験者報告)</p> <p>12/4 2年生思春期教室～登別市保健福祉部健康推進グループ保健師</p> <p>2/26 全市一斉ピンクシャツデーへの取組(実行委員会啓発動画視聴も含む)</p>
緑陽中	<p>7/5 1年自然体験学習(ふおれすと鉱山)</p> <p>10/8 職場体験学習</p> <p>11/7 1年思春期教室</p> <p>12/16 3年思春期教室</p> <p>2/21 2年認知症サポーター養成講座</p> <p>2/26 全市一斉ピンクシャツデーへの取組</p>

- 「スキーチラシ」及び「温泉入浴体験」
- スキーチラシは予定通り実施。※実施日程は上表記載のとおり。

○教職員向けスキー研修

実施日：令和7年1月8日 参加者：20名

対象者を教職員だけでなく、地域ボランティアも含め研修を実施した。

指導は、登別スキー連盟指導員3名。

○温泉入浴体験は予定通り実施。※実施日程は上表記載のとおり。

評価	小学校では交通安全教室や薬物乱用防止教室、多くのスキー連盟指導員や地域ボランティアの協力の下で実施したスキー学習や温泉入浴体験等を通じて児童においてルールを守り、人間関係を構築していくことの重要性などキャリア教育の一端である人間関係形成・社会形成能力に関する意識付けを行うことができた。また、小学校では併せて公共施設の見学や本市の歴史、文化、産業についての学習を行い、中学校においては市内事業所での職業体験などを行うことで、地域への愛着や豊かな心を育むとともに、将来の仕事に対する興味・関心を喚起することができた。
今後の方向性	豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、道徳の時間など、全ての教育活動を展開する中で、より良い人間関係を構築しながら、互いの違いを認め合い、個性を尊重する気持ちを育み、自己有用感を高めていく。 また、自然や温泉などの地域資源を生かした体験学習や、登別商工会議所や地元の企業、日本工学院北海道専門学校等と連携した職業体験などのキャリア教育を充実させ、学習成果を積極的に発信する「ふるさと学習」を推進するとともに、ふるさと登別を大切にする心の醸成に努める。

項目	4 健康・体力
点検内容	健康・体力づくりについては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも体力の低下が確認できることから、小学校へのスポーツ指導員の派遣などを継続して、体育指導の充実や運動の習慣化を図り、体力向上に向けて組織的に取り組んでいく。 また、規則正しい生活習慣を身に付ける取組として家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発、「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」について周知徹底するなど、児童生徒の健全な心身の育成を図っていく。

取組状況

○令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果と分析（実施時期：令和6年4～7月）

小学校 5年男子

	実施数	身長(cm)	体重(kg)	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点(点)
全国	486,401	139.6	35.4	16.0	19.2	33.8	40.7	46.9	9.50	150.4	20.8	52.5
北海道	11,224	140.0	36.9	16.9	19.1	34.2	41.8	46.3	9.77	151.7	21.5	52.9
R6登別	164	140.1	35.7	16.21	18.1	35.9	41.52	45.29	9.73	151.31	19.76	52.3
R5登別	187	139.5	35.7	15.4	18.2	35.9	42.0	49.99	9.84	149.86	19.74	52.4
R4登別	152	140.0	37.6	15.7	18.6	36.3	42.7	46.9	9.9	154.4	19.7	53.0

小学校 5年女子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフト ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	468,284	141.0	35.0	15.8	18.2	38.2	38.7	36.6	9.8	143.1	13.2	53.9
北海道	10,622	141.7	36.3	16.6	18.1	38.5	39.9	36.3	10.0	144.3	13.9	54.3
R6登別	120	142.0	36.8	16.5	17.5	40.0	40.2	36.0	10.0	144.7	13.5	54.3
R5登別	140	142.0	36.6	16.3	17.2	42.7	40.1	39.0	9.9	145.1	14.0	55.4
R4登別	158	142.3	36.8	16.0	17.3	40.1	40.9	37.9	9.9	149.0	13.9	55.1

中学校 2年男子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	403,700	161.3	50.1	29.0	26.0	44.5	51.5	410.7	79.0	8.0	197.2	20.6	41.9
北海道	10,522	162.2	52.0	29.6	25.2	42.8	50.0	435.1	74.8	8.2	194.7	20.3	40.5
R6 登別	125	162.0	52.9	27.4	24.1	42.9	49.2	416.2	78.4	8.1	190.2	17.9	38.1
R5 登別	122	161.7	50.3	28.0	23.0	42.3	46.7	452.0	74.1	8.4	191.2	18.87	37.4
R4 登別	152	161.1	51.5	27.8	24.1	42.7	48.6	422.1	71.5	8.4	196.7	18.6	37.6

中学校 2年女子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座体 前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
全国	384,905	155.0	46.8	23.2	21.6	46.5	45.7	309.2	50.7	9.0	166.3	12.4	47.4
北海道	9,848	155.3	47.5	23.0	20.7	45.0	44.0	322.2	46.3	9.2	161.5	12.2	44.9
R6 登別	121	155.4	48.4	22.5	20.3	45.9	43.8	277.2	49.2	9.0	161.6	11.9	45.1
R5 登別	128	155.1	47.33	22.6	18.13	44.4	43.4	353.3	48.15	9.2	161.4	11.6	43.1
R4 登別	142	154.2	46.5	21.4	19.7	44.4	41.9	309.7	44.2	9.3	161.0	11.7	41.4

<小学校男子>

- ・体力合計点は全国平均とほぼ同等である。

<小学校女子>

- ・体力合計点は、全国平均とほぼ同等である。

<中学校男子>

- ・体力合計点は、全国平均を下回っている。

<中学校女子>

- ・体力合計点は、全国平均をやや下回っている。

○体力向上一校一実践内容

幌別小	短縄 記録カードを基に練習(全学年、通年) 長縄記録会(全学年 12月)全校で記録会実施
幌西小	短縄による日常的な体力づくり(全学年、通年) 短縄週間の取組(年2回)

鷺別小	1/31 繩跳び記録会 「がんばりカード」の年間活用 休み時間のキャッチボール(通年 週1回)
登別小	なわとび(全学年、通年)自己目標を設定 体力づくりの時間に取り組む。 すもう(1～3年 8～9月)体育の時間に実施、登別場所(9月)を設定する。 シャトルラン(全学年 年3回) 自己目標を設定、体育の時間に取り組む。 スキー(全学年 1～2月) 裏山(主に1・2年使用) スキー場(1・2年1回、3～6年2回)
富岸小	グラウンドにドッヂボールコート常設 マイペースラン(全学年、9月) 長縄大会(全学年、12/2) とんけし運動広場(おにスポ主催)
幌東小	全校児童「新体力テスト」の実施 校内体力づくりの実施～短縄跳び、体力アップチャレンジ(持久走の練習) 全校持久走記録会(雨天のため各学年で実施) 朝の体力つくり 週1回 金曜日に実施
若草小	なわとび 休み時間に「なわとびカード」の名人を目指して取り組む(6月～12月) 「短縄記録会」(9月)の開催 休み時間にボール投げ運動など日常的な体力向上の取組 2/7 スキー学習(5・6年)
青葉小	「新体力テスト」実施(全学年) 短縄跳び(全学年、6～2月)学級ごとに取り組む。 「エンジョイタイム」(休み時間を活用した全員遊びの取組※児童会活動)の実施(6～9月)
幌別中	1/29 2学年ダンスインストラクターの授業 ダンス指導学年単位で発表(3学期) 保育専門委員会による球技交流会の実施(3学期)
鷺別中	2年 新体力テストの結果を受けて、体育科通信の発行と体育授業での補強運動を実施 2年 2月ダンス指導及び発表会の実施
登別中	導入5分間アップ(全学年・通年)授業導入時筋トレ、コーディネーショントレーニング実施 体力アップイベント(全学年)体幹トレーニングなど生徒による企画と実行 「新体力テスト」実施(全学年)
西陵中	保健体育の授業において毎時間必須の基礎体力作り運動を実施 (年間 1,050回以上を超える体力運動実施)
緑陽中	「新体力テスト」実施(全学年) 長縄跳び(全学年体育科で実施)

○体育コーディネーターの活用による体育授業及び体力向上の支援(子ども健康・体力改善事業)

委託先 NPO法人「おにスポ」

市内全小学校にスポーツ指導員を1校当たり授業で年間209.25時間以上開催。

- 実施内容 ①「体育の授業」質向上支援～・柔軟性・俊敏性を養う動きを取り入れた準備運動の導入
②実技の手本を見せ、児童へ体の動かし方やコツ、練習のポイントのアドバイスを実施
③準備運動で、単位時間の中で行う運動に必要な筋肉を使う体操を導入
④体力向上を図る取組の支援～・おにごっこや球技を取り入れた遊びへの参加について、積極的に児童に働き掛けることで、運動への意欲の向上を図るとともに、運動不足の解消、持久力、瞬発力を高められるような取組を実施
⑤新体力テストの実施に関する指導補助

実績

鷺別小	若草小	富岸小	青葉小	幌別小	幌東小	幌西小	登別小
209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	209.25	209.25

○栄養教諭による食育・給食指導

・勤務校での指導状況

幌別小 1年 4/12 給食を楽しく食べよう 8/27 乳牛について（明治）
11/28 給食ができるまでを知ろう
2年 8/27 元気が出る朝ごはん（明治） 1/21 おはし名人になろう
3年 11/15 食べ物の3つの働きを知ろう 7/3 おなか元気教室（ヤクルト）
4年 9/18 朝ごはんのよさ、働きを見直そう 9/30 醤油のおいしさのひみつ（日本醤油協会）
5年 8/27 運動と食事（明治） 10/16 食べ物の働きについて知ろう
6年 6/20 骨の成長に大切なことを考えよう（雪印） 11/1・11/8 給食メニューを考えよう
※ 給食指導～毎日学級訪問 食育掲示の充実～年12回程度、給食だより年12回発行

幌別東小 1年 11/26 給食について知ろう
2年 11/28 手洗い名人になろう
3年 12/17 食べものの3つの働きを知ろう
4年 12/17 バランスの良い朝ご飯について考えよう
5年 5/16 調理実習 11/22 米を炊こう 12/13・18 五大栄養素について知ろう
6年 5/28 調理実習 1/29 添加物と上手につきあおう
1・2年 10/7 ヨーグルトができるまで（明治食育教室）
3・4年 9/12 お腹の中から元気（ヤクルト）
5・6年 10/7 牛乳ができるまで（明治食育教室）
特学 11/12 自立調理実習 11/19 自立調理実習
※ 給食指導～毎日学級訪問 給食だより年12回発行

・派遣先での指導状況

幌西小 11/14 2年（給食ができるまで） 9/3 4年（朝ごはんのよさを知ろう）
若草小 10/24 1年（給食ができるまで） 10/8 5年（食べ物の働きについて知ろう）
登別小 11/27 2年（給食ができるまで） 11/6 5年（食べ物の働きについて知ろう）
青葉小 10/23 2年（給食ができるまでを知ろう） 11/13 4年生（食べ物の働きについて知ろう）
鶩別小 11/18 3年（食べ物の3つの働き） 11/21 4年（バランスの良い朝ごはんを考えよう）
富岸小 7/17 6年（食品添加物と上手につきあおう） 9/4 5年（五大栄養素について知ろう）
9/10 2年（給食について知ろう）

○薬物乱用防止教室

幌別小	12/1 5・6年 危険ドラッグも含めた非行の実態について室蘭警察署員による講話
幌西小	12/16 薬物乱用防止教室
鶩別小	6年 シンナーや麻薬の恐ろしさについて、担任による指導（保健の授業で実施）
登別小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し、学級担任が保健の時間に指導
富岸小	2/27 6年薬物乱用防止教室 室蘭警察署員から薬物の恐ろしさと使用は絶対にいけない旨の講話（喫煙も含む）
幌東小	6年 薬物乱用防止に関する資料を活用し養護教諭が保健の時間に指導
若草小	12/17 非行防止教室（6年）
青葉小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が保健の時間に指導
幌別中	7/22 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員 12/19 1年生冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鶩別中	3/6 3年 薬物乱用防止教室（室蘭警察署）

登別中	10/29 3年薬物乱用防止教室(保護司会)
西陵中	11/25 3年 室蘭警察署員による、薬物全般に関する講話
緑陽中	11月 薬物乱用防止授業

評 価	<p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査について、体力合計点は、小学校男女子が全国平均と同等、中学女子が全国平均をやや下回り、中学男子が全国平均を下回った。</p> <p>小学生は「長座体前屈」について全国平均を上回っており、柔軟性が備わっていると考えられる。</p> <p>また、小学生は「反復横とび」「立ち幅とび」が全国平均を上回っていることから瞬発力について評価できる一方で20mシャトルランは全国平均を下回っていることから持久力に課題があるものと考えられる。また、中学生は全般的に全国平均を下回っており、疾走能力、筋パワー・筋持久力、敏捷性を高める取組を進めていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>健康・体力の向上については、各学校の特徴を生かした体力向上の取組を推進するとともに、小学校の体育授業などへのスポーツ指導員の派遣を継続し、各学校の課題を焦点化した体育指導の改善や運動の習慣化を図り、体力向上に向けて組織的に取り組んでいく。</p> <p>また、規則正しい生活習慣を身に付ける取組として「早寝早起き朝ごはん」の徹底を家庭へ粘り強く啓発する中で、心身ともに健全な児童生徒の育成を図る。</p>

項目	5 教職員の人材育成
点検内容	<p>教職員の人材育成については、実践的指導力や専門性の向上に意欲的に取り組む教職員の育成に努める。</p> <p>そのため、教職員同士が互いに研鑽する機会として、これまで同様に、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援していく。</p> <p>また、市教育委員会デジタルフェローと連携し、ICTを活用した指導力向上研修に取り組み、校内研修等を通じて成果を広く還元していく。</p> <p>教職員の働き方改革については、ICTを活用した保護者との連絡体制のデジタル化などの業務改善を行い、時間外在校等時間の削減に努める。</p>

取組状況

○登別市教育実践研究奨励校

学校名	領域・教科	研究 主 題	年度
幌別小	学習指導	考え方を表現し、よりよい学びにつなげる子の育成 ～個の学びが充実する算数科の授業の在り方～	5・6
若草小	学習指導	「教えて考えさせる算数科の指導法の工夫」 ～みんなが「わかる」「できる」楽しさを実感できる授業を目指して～	5・6
幌別中	学習指導	ICTを活用した主体的な学びの実現を目指して ～生徒・教師が学習を通じた変容を共有できる授業・評価改善～	5・6
西陵中	学習指導	「主体的に学びに向かい、自己の力を高める生徒の育成」 ～学びを実感させる学習過程の工夫と、自立した学習習慣の定着を通して～	5・6

登別小	学習指導	言葉のよさを認識し、共生・協働・表現・継続しながら高め合う子どもの育成 ～国語科における、「協働的な学び」の充実を目指して～	6・7
幌別西小	学習指導	西小プラス ONE! ～主体的に学ぶ力を身に付けさせる授業を目指して～（通常学級） ～一人一人が「分かった」「できた」を実感できる授業～（特別支援学級）	6・7
青葉小	学習指導	どの子にも『わかる喜び』『学ぶ楽しさ』を味わわせる算数科指導のあり方（令和6年度） 子どもが自立的に学び進めることができる授業のあり方（令和7年度）	6・7

○学校力向上に関する総合実践事業（中核校：幌別小、指定校：幌別東小、幌別中）

登別市地域協議会の開催状況

- ・第1回協議会（7/11）：幌別中学校の授業公開と研究協議を実施し、中核校と指定校の連携による授業ルールやスタイルの共有の在り方について話し合った。（教職員59名参加）
- ・第2回地域協議会（11/6）：幌別小学校の理科専科による授業公開と実践発表を行い、中核校と指定校が連携した取組についても協議した。（教職員46名参加）
- ・第3回地域協議会（12/6）：幌別小学校の授業公開と実践発表を行い、指定校の取組の成果と課題について発表した。（教職員41名参加）
- ・第4回地域協議会（2/7）：加配事務職員の実践発表と幌別中学校の働き方改革の取組の実践発表を行い、成果を広めた。また、北海道教育庁教職員局教育支援課主幹兼渡島教育局主幹を招き、「働き方改革の推進について」の講演会を実施した。（市内13校長参加）

○地域全体の学校が共通して取り組む事業内容

- (1) ICTを活用した教育の充実
- (2) 「北海道アクション・プラン（第2期）」を踏まえた働き方改革の実施

○働き方改革の推進

- ・「登別市立学校における働き方改革基本方針（平成30年10月策定・令和2年3月改定）」に基づき、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備に努める。

【基本方針の目標】

教育職員の在校等時間から所定の勤務時間等を減じた時間（いわゆる「時間外在校等時間」）を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とする。

【目指す指標】

- 1 部活動休養日（平日週1日・休日週1日・学校閉庁日の年間合計=113日）を完全に実施している。
- 2 変形労働時間制を活用している。
- 3 定時退勤日を月2回以上実施している。
- 4 学校閉庁日を年9日以上実施している。※以上4指標は、令和元年度中に達成している。

【主な具体的取組】令和元年度以降に検討又は実施したもの（以前から実施済みの取組は除く）

- 1 教職員の事務負担を軽減する校務支援システムを導入（令和3年度末に試行、4年度から導入開始）。
- 2 給食費については、給食費管理システムを導入（令和3年度から導入開始）
- 3 部活動指導員を配置する（令和6年度は3名配置）。

幌別中バレーボール部1名

緑陽中バスケットボール部1名・ソフトテニス部1名

- 4 在校時間を客観的に計測するシステムを導入する（平成31年4月から記録を開始）。

- 5 留守番電話の設定（平成31年4月から対応を開始）

ICT活用の取組状況

○登別市情報教育推進協議会

- ・12月10日にオンライン(Google Meet)で実施。学校間の情報交換をするとともに、市教育委員会から以下の情報提供を行った。
- ・主な内容：
 - ・生成AIの校務への活用について
 - ・スマイルネクストドリルのトライアル実施について
 - ・FigJamの利用について
 - ・校内ネットワーク整備、端末更新の見通しについて

○令和6年度登別市教職員研修会

- ・日 時：7/30 13時～
- ・会 場：緑陽中学校 体育館
- ・参加者：市内小中学校教職員 → 55名参加
- ・内 容：
 - ①特別講演「GIGAスクール構想の背景や国内外のICT教育の状況」
講師 登別市教育委員会デジタルフェロー(グーグル合同会社日本統括)
小出泰久 氏
 - ②「ICT活用に係る校務運営の効率化についての道外視察報告と緑陽中での実践発表」
講師 緑陽中学校 尾野成篤 教諭

○のぼりべつICT情報交流(Googleクラスルーム 2021.4より継続)

Google クラスルームの機能を活用し、市教育指導専門員が運営し、定期的な更新を図っている。主に各校の端末活用や授業の実際、国や道の最新動向、端末機能及び活用の実際、研修資料等を掲載。

○登別市Google研修チーム(Google講師)を活用した研修

- ・6/6(校長・推進委員対象)～各校での研修に先駆けて管理職向け研修を実施。
- ・中学校区ごとに教職員のICT活用力向上のための研修を実施
7/24 若草小・青葉小・富岸小、7/25 鷺別小、7/26 登別小・登別中、西陵中・幌別西小
7/29 幌別小・幌別東小・幌別中、緑陽中、7/30 鷺別中

○生成AI Gemini活用に係る研修会

- ・日時 10/23 14時30分～
- ・会場 幌別小学校
- ・参加者 各校情報教育推進協議会推進員
- ・講師 グーグル合同会社 副本部長 上原 玲 氏

評価	登別市教育実践研究奨励校については7校を指定し、各校の研究の経緯や実態に即した「学習指導」に関する取組を支援した。これにより、研究紀要の作成・配付により研究の成果を発信するなど、研究の質を高めるとともに、タブレット端末が導入され4年目となり、各校が「ICTを活用した主体的な学びの実現」を視点として、「個別最適な学び」や「主体的に学習に取り組む態度」の育成を意識した授業改善の研究を進めることができた。 また、令和6年度の学校力向上に関する総合実践事業は「指定地域」として、幌別小学校を中核校、幌別東小学校と幌別中学校の2校を指定校として実践を重ねてきた。中核校は地域全体で取り組む事業内容のほかに、小学校高学年における理科専科教員の活用、指定校においては、その成果を学校公開や地域協議会の場を活用しながら市内各学校に普及還元してきた。また、市教委は市内全体の学校力の総合的な向上を目指してマネジメントプランの提示等を通じた「取組の可視化」「進捗状況の明確化」を意識してきた。 ICTを活用した指導力向上研修については、市教育委員会デジタルフェローやICT活用に先進的に取り組んできた教職員を講師に迎えて研修を開催したことで、教職員におけるICTを活用した指導力向上を図ることができた。
-----------	---

	教職員の働き改革については、業務の一層の効率化や引き続き部活動指導員導入の継続等により時間外在校等時間の縮減を図ることができた。
今後の方向性	<p>教職員の人才培养については、実践的指導力や専門性の向上に主体的に取り組む教職員の育成に努める。</p> <p>I C Tの効果的な活用については、市教育委員会デジタルフェローと連携し、引き続き指導力向上研修を開催するほか、新たに生成A Iの活用による校務改善を進める。</p> <p>また、各種会議や校内研修でのケース会議などを通じて、教職員の資質・能力である生徒指導力や組織的な対応力を高めていく。</p>

項目	6 いじめ・不登校対策
点検内容	<p>いじめ・不登校対策については、児童生徒がいじめ問題や多様性の尊重について、自らの意見を表明する機会として、令和3年度から実施してきた「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通して、いじめ問題への意識が高まってきたと考えている。令和6年度も「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を引き続き推進していく。</p> <p>また、「S O Sの出し方に関する教育」について、令和6年度は中学校で授業を実施し、思春期の心や体についての理解を促すとともに不安やストレス等への様々な対処方法や援助希求行動、他者との望ましい関わりについて考えを深め、身近にいる信頼できる人に早期にS O Sを発信できるよう取り組んだ。</p> <p>一方、教職員は悩んでいる児童生徒にいち早く気づき、声をかけることなどが重要であるため、ゲートキーパー研修等を実施することで教職員のスキルアップに努める。</p> <p>さらに、「登別市いじめ・不登校等対策会議」や「生徒指導担当者会議」での事例研修・情報交換を通して、いじめ問題・不登校の未然防止や早期発見・早期解決に向けた組織的な対応を継続し、教育支援センターの役割を明確にして、不登校となった児童生徒に対する個に応じた支援を推進していく。</p>

取組状況

○いじめの起きない環境づくりや不登校に対する体制づくり

期日	内容
5/9	<p>第1回いじめ・不登校等対策会議 兼 第1回生徒指導担当者連絡会議</p> <p>内容：本年度の重点、情報交流</p> <p>指導力向上研修①：講師：秋葉学務主幹 演題：『いじめ・不登校について』</p>
5/23録画 5月下旬配信	<p>教職員研修会（講演）*GoogleClassroomによるオンデマンド配信</p> <p>講師：竹内亮平 氏（特定医療法人社団千寿会三愛病院 医療福祉相談室課長）</p> <p>演題：『ゲートキーパー研修』</p>
7月8日	<p>第2回いじめ・不登校等対策会議 兼 第2回生徒指導担当者連絡会議</p> <p>内容：事例研修（不登校児童生徒への対応、いじめ防止対策）</p>
9月下旬配信	<p>第3回いじめ・不登校等対策会議 指導力向上研修②</p> <p>*GoogleClassroomによるオンデマンド配信</p> <p>講師：山上崇 緑陽中学校教頭</p> <p>演題：『チーム学校によるいじめ・不登校対策』</p> <p>～解消しなかった数ゼロ 組織的に関わらなかった数ゼロ～</p>

11/27	第4回いじめ・不登校等対策会議 兼 第3回生徒指導担当者連絡会議 内容：事例研修（不登校児童生徒への対応、いじめ防止対策）
1月下旬	第5回いじめ・不登校等対策会議 指導力向上研修③ *GoogleClassroomによるオンデマンド配信 講師：関川恭平 胆振教育局指導主事 演題：『生徒指導（いじめ対応） 生徒指導（不登校対応）』
2/6	第6回いじめ・不登校等対策会議 兼 第4回生徒指導担当者連絡会議 内容：各学校の取組の成果と課題の交流

- ・「長期欠席児童生徒の報告」当月7日以上、累計30日以上 報告に基づき支援策等について検討
- ・教育支援センター「鬼っ子広場」週1回 学校の申し出で協議し随時実施 3名通級(R5年度5名)
- ・体験教室「陶芸教室」（健千窯）水曜午前 学校の申し出で協議し随時実施 14名通級(R5年度17名)
- ・自然体験活動（ふれあい鉱山での鉱石探し） 9/3 (参加者1名)
- ・教育指導専門員による相談（電話・来室・メール） 15件（昨年度22件）
- ・教育指導専門員等による学校訪問 年3回（6月、12月、2月）
- ・不登校等支援関係者情報交流懇談会（心の教室相談員・SSW等） 2/6
- ・保護者相談～希望により随時開催
- ・いじめ関係 アンケート調査（年2回） 取組状況調査（年2回） 対応状況調査（年3回）
- ・不登校児童生徒への支援状況の把握（年2回）

○不登校出現件数・いじめ認知件数の推移

（単位：件数）

不登校出現件数の推移							いじめ認知件数の推移						
	R1	R2	R3	R4	R5	R6		R1	R2	R3	R4	R5	R6
小	1	3	6	10	9	24	小	17	21	34	61	594	775
中	29	26	19	31	39	45	中	7	6	19	39	81	60
計	30	29	25	41	48	69	計	24	27	53	100	675	835

○ S C・SSW・心の教室相談員の支援 ※（ ）は昨年度

- ・ S C（スクールカウンセラー）の相談内容

相談者	不登校	いじめ	暴力	友人関係	教師との関係	親子関係	心身健康	発達障害	学業進路	その他	合計
児童生徒	34(70)	0(0)	0(0)	12(18)	0(1)	2(9)	18(2)	13(10)	3(5)	1(-)	83(115)
保護者	24(63)	0(0)	0(0)	4(2)	0(1)	0(3)	4(1)	12(11)	1(1)	3(-)	48(82)
教職員	17(19)	0(0)	0(0)	0(5)	1(1)	0(1)	2(3)	4(8)	2(0)	3(-)	29(37)
その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(-)	0(0)

- ・ S S W（スクールソーシャルワーカー）～2名配置 活動状況 全学校を訪問

活動時間	10時～15時45分
対象	支援児童生徒 保育所0(0)人 小学校4(9)人 中学校11(9)人 その他0(0)人
問題別	不登校56(12)件 暴力行為0(0)件 友人・教職員関係7(5)件 児童虐待0(0)件 貧困4(-)件 ヤングケアラー0(-)件 家庭環境21(9)件 心身の健康・保健に関する問題0(3)件 発達障がい16(3)件 性的マイノリティー0(-)件 その他14(3)件
訪問回数	学校32(45)件 関係機関22(10)件 家庭132(54)件

- ・心の教室相談員 相談件数 計183(154)件

勤務日数 幌別中学校（105日）、西陵中学校（84日）、鶩別中学校（81日）、登別中学校（118日）、
緑陽中学校（80日）

評 価	<p>登別市いじめ・不登校等対策会議や教育指導専門員による学校訪問、道教委等いじめアンケート調査等を通して、いじめ・不登校の実態把握に努めるとともに、具体的な手立てを共有した。また、ゲートキーパー研修などいじめ・不登校に関わる研修を外部講師を招き、市内全教職員を対象として実施した。</p> <p>教育支援センターや各学校の別室指導等において、オンラインでの授業配信や学習アプリを活用した学習支援など、タブレット端末を活用した支援を充実させた。</p> <p>SNS等の普及やコロナ禍の生活変化、インターネット等への依存などによる生活リズムの乱れなど児童生徒が抱える問題が多様化、複雑化しており、心の教室相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等への相談が増加傾向にある。</p> <p>教育支援センター（「鬼っ子広場」や「健千窓」）では、登校への意欲を高めるために、きめ細やかな支援を行った。支援を必要とする児童生徒が効果的に利用することができるよう、学校や保護者への適切な働き掛けを継続した。</p>
今後の方向性	<p>いじめ・不登校の対策については、いじめ問題・不登校の未然防止や早期発見・早期解決に向けた組織的な対応を継続するとともに、「みんなが通いたくなる学校づくり」を児童生徒一人一人が自分事として捉え推進できるよう、「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を継続し、経験から得た学びや気付きを各学校へと広げることで、いじめ問題や多様性の理解への意識を高めていく。</p> <p>また、「SOSの出し方に関する教育」を全学級で継続し、悩みを相談し合える人間関係づくりに努める。</p> <p>さらに、不登校児童生徒の対応については、教育支援センターでの個に応じた支援を続けるとともに、各学校で不登校傾向や集団に馴染めない児童生徒の学級以外での居場所づくりに努める。</p> <p>このほか、近年増加傾向にあるSNSなどのトラブル対策については、児童生徒の情報活用能力を高める中で、望ましいインターネットの利活用に向けたルールづくりや危機管理意識の向上を図るなど、より一層、情報モラル教育の浸透に努める。</p>

項 目	7 幼保小中連携・小中一貫教育
点検内容	<p>幼保小中連携・小中一貫教育については、「登別市幼保小中連携協議会」や「登別市幼保小実務担当者会議」を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続していく。</p> <p>また、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、各中学校区で「目指す子ども像・15歳の姿」を共有し、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実を図る。</p>

取組状況

○令和6年度の幼稚園・保育所と小・中学校の連携事業

事 案	発 信 元	内 容
不審者情報・凶悪事件	社教G・学校	・警察・胆振教育局からの情報：市、学校区の対応
行事案内	学校	・年間行事予定・学芸会・運動会・卒入学式案内
学校だより	学校	・月1回作成 1部配付
教育委員会広報	学教G	・教育行政全般の活動報告

○日常の情報交流、指導者・子どもの交流について

幼保・小・中連携協議会	幼保小中	10/29 登別市幼保・小・中連携協議会 出席：幼稚園代表・保育所代表・校長会代表・教育委員会 内容：令和6年度の連携の在り方と取組について
	幼保小	10/29 実務担当者会議（幼保小間の連携による子どもへの指導や関わりを円滑に進めるための情報交流・意見交換を実施） 出席：市内幼稚園12名・市内保育所3名・市外幼稚園7名 市内各小学校教諭14名・子育てG1名・市教委7名 3/25・26「幼・保・小」実務担当者会議〔合同引き継ぎ会〕（就学前の個々の実態やアレルギー等配慮が必要な事柄、就学後予想される課題について、情報や意見交換を実施） 出席：登別市内の幼稚園・保育所18名、室蘭市内の幼稚園・保育所11名、市内各小学校19名・市教委2名
1日体験入学	幌別小 幌別東小 登別小 幌西小 富岸小 若草小 青葉小 鶩別小 登別中 幌別中 西陵中 緑陽中 鶩別中	2/4 新1年生と現1・2年生の交流を生活科の授業体験などを通して実施、保護者説明会・教材購入も実施 1/30 幌別中学校1日入学 1/31 次年度就学予定児童を対象に実施、同日に保護者を対象とした学校説明会・PTA説明会、教材販売を実施 1/30 1日体験入学・入学説明会 本校1年生児童と新1年生が交流（1年生と一緒にものづくり） 2/4 1日体験入学・入学説明会 2/5 1日体験入学・保護者説明会実施 2/5 1日体験入学・保護者説明会 2/6 1日体験入学 11/12 1日体験入学 教育活動等説明、授業体験、統合に関する説明、部活動地域移行説明 11/29 保護者向け説明会を実施 1/31 小6年生対象の体験入学を実施 11/11 新入生体験入学・保護者説明会（概要説明、授業見学） 11/6 新入生保護者説明会 学校の概要説明、授業見学 10/23・24 1日体験入学I 授業参観、学校の概要説明 11/21・26 1日体験入学II 授業体験（理科・英語）
交流活動	西陵中校区 幌西小	小中合同挨拶運動（朝、本校生徒会と幌西児童会） 8月、2月 出前授業 3月（音楽科） 5/30 10/29 2/21 小中一貫教育推進協議会 （両校分掌代表教員による研究協議を3回実施） 年間、授業参観や校内研修に合わせた相互の授業見学 9/20 西陵中学校祭見学（5・6年） 10/1,2 北海道登別明日中等教育学校生徒 インターナンシップ受入（1名） 10/8 北海道登別明日中等教育学校生徒による英語学習サポート 11/11 6年生西陵中学校1日体験入学 1/23 6年生中学校授業参観、校内見学

	鷺別中校区	9/2 中学校区教員合同研修（全体研修、部会協議） 5/22, 8/26, 1/15, 2月（書面）鷺別中学校区小中連携協議会 9/2 小中交流授業公開（鷺別中授業公開） （鷺小 12/11 校内研修で公開参観、若小 11/28 公開研究会で参観）
	鷺別小	10/24 11/26 鷺別中学校体験入学 7/17 12/4 居住地交流
	若草小	3/7 リリー文化幼稚園児との交流（オンライン 1年生） 10/22～24 北海道登別明日中等教育学校インターナーシップ受入 1名 10/23～24 北海道室蘭栄高等学校インターナーシップ受入 2名 10/25, 2/3 居住地校交流（室蘭養護学校） 10/23, 11/21 鷺別中学校体験入学（6年生）
	幌別中校区	5/30 校区内合同研修会（幌別中授業参観、グループ別協議）
	幌別中	10/21・22 登別明日中等教育学校生（1名）と室蘭栄高等学校生（1名）の計2名インターナーシップ受入 1/23・24 室蘭清水丘高等学校生の1名インターナーシップ受入
	幌別小	10/30 カトリック聖心幼稚園年長児と1年生の交流（ハロウィン） 1年生がカトリック聖心幼稚園を訪れ、年長児と交流 (学習発表会の際のダンスの交流) 11/28 カトリック聖心幼稚園年長児と1年生の交流 カトリック聖心幼稚園の園児を招いて、生活科で準備してきた「秋のたからものランド」で楽しんでもらう交流 2/14 言語通級教室職員4名 カトリック聖心幼稚園授業参観 3/14 音楽科教員による幌別小6年生対象合唱指導
	幌東小	6/27 運動会総練習を幌別保育所の幼児が見学 10/17 学習発表会に東保育所幼児招待 →中止
	登別中校区	7/26 登別中校区小中合同研修会① 2/28 出前授業（6年生） 登別中校区小中合同研修会②
	登別小	11/12 登別中学校体験入学（6年生） 11/15 コロポックルの森年長 2年生活科に参加・交流 2年生が生活科でおもちゃを作成し園児が遊ぶ形式の交流 2/28 登別中学校教諭出前授業（6年生）
	緑陽中校区	10/1 2/20 三校合同研修会
	富岸小	11/6 緑陽中学校1日体験入学（6年生） 2/20 緑陽中学校区三校交流研修会
	青葉小	11/6 緑陽中学校1日体験入学（6年生） 2/20 緑陽中学校区三校交流研修会
小中合同避難訓練	鷺別中校区	9/6 避難訓練開催（津波）→日程調整上合同開催中止（若草小・鷺別小）
家庭科～保育体験	鷺別中 緑陽中 西陵中	10/4, 7, 8 3年生 鷺別保育所で保育実習 10/22, 24, 29 3年生 ふれ合い体験学習（富岸子育てひろば） 10/4 3年生富士保育所「幼児とのふれあい体験」
総合的な学習の時間	登別中 西陵中	10/17 職業体験 2年 コロポックルの森・わかさいも本舗他、校内事業所 10/2 職業体験 2年 市内各受入先にて体験

	鷺別中 緑陽中	10/31 職場見学 1年（工学院） 10/17 1年 ウポポイ学習 11/7 1年 講師を招き、ふるさと（キャリアに関して）講演会 10月 1年 地域探索（キャリアプランの作成を絡めて） 12/4, 5, 6 2年 日本工学院体験授業 (職業体験学習に代わって上級学校訪問) 10/8 2年 職業体験
幼稚園・保育所視察	幌別小 幌西小 登別小 鷺別小 富岸小 若草小 登別中 鷺別中 緑陽中 幌別中 西陵中	7/10 本校職員(言語通級教室職員4名)白菊幼稚園授業参観 2/17 白菊幼稚園視察、2/10カトリック幼稚園視察 12/4、12/5、2/20 カトリック聖心幼稚園教員が幌別西小参観日視察 1/16 カトリック聖心幼稚園授業参観、1/29 コロポックルの森授業参観 1/7 鷺別保育所、栄町保育所 視察 6/15 運動会にて白菊幼稚園副園長来校視察 10/12 学習発表会にて幌別東保育園職員来校視察 2/20 もみの木こども園年長児来校 1年生交流授業 3/5 白菊幼稚園年長児来校 学校探検 ※1~3月 教頭、登別・室蘭の全保育園・幼稚園を視察 2月中に次年度入学予定の児童が在籍している市内・近隣の幼稚園・保育所・こども園全てに教務主任、養護教諭が視察 10/17 職業体験の時に合わせてコロポックルの森を視察 10/4, 7, 8 3年生 鷺別保育所園児に手作りおもちゃを贈呈 保育体験の時に合わせて富岸子育てひろばを視察 東保育所の避難訓練場所として敷地内を提供 職業体験に合わせて市内幼稚園を視察 10/2 白菊幼稚園

○小中一貫した教育の推進

市内全中学校区で推進協議会の立ち上げ～目指す子ども像の検討、取組内容の検討、企画、実行。

中学校区内で合同研修会開催～校区内の教職員で目的や課題の共有。具体的な取組内容の確認。

全ての中学校区で、学校評価の項目の一部を統一し、成果と課題の共有化を図る。

評価	幼稚園、保育所、小学校の関係者による実務担当者会議では、幼保小間の連携の計画や情報交流・意見交換を実施した。 また、合同引継ぎ会では、本市に入学する幼児一人一人について、配慮事項等について情報共有を図った。 小中一貫教育については、中学校区ごとに複数回互いに授業参加や意見交換会をするなど、学習指導や生徒指導の向上を図った。
今後の方向性	幼保小中連携・小中一貫教育については、登別市幼保小中連携協議会をはじめとする各種会議を通じ、相互参観や教職員の連携強化を図り、子ども同士の交流を継続することで、スムーズな校種間の接続や子どもの不安解消に努める。 また、各中学校区で「目指す子ども像・15歳の姿」を共有し、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の連携強化を図る。

項目	8 特別支援教育
点検内容	特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の実施や関係機関との連携により、幼児期から切れ目のない一貫した支援体制を継続し、個の特性に応じた指導・支援に努める。

取組状況

○市内小中学校の特別支援学級の状況 () 内は前年度

	小学校	中学校	
知的障害学級	8学級29名(8学級27名)	5学級16名(6学級19名)	
自閉・情緒学級	9学級49名(10学級44名)	6学級20名(5学級15名)	
肢体不自由学級	3学級3名(2学級2名)	1学級1名(設置無し)	

担当教員	46名(39名)
介助員	8名(9名)
学習支援補助員	20名(20名)

担当教員はハーフ勤務6人含む

○登別市教育支援委員会の取組

①就学前からの教育相談や就学指導

	担当	内 容
パートナーティーチャー派遣事業	学教G	特別支援学校教員による小中学校の発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導・支援 活用校～登別小2名 岬西小4名 岬別中1名 登別中1名 鷺別中5名
巡回教育相談	学教G	道特別支援教育センター相談員による就学や発達に関わる相談 [学びの場の助言を希望する相談] 市内小学校7名 [学びの場の助言を希望しない相談] 市内小学校4名
教育支援委員会 9月～12月	学教G	適正就学に向けた取組 ・委員の幼稚園・保育所訪問観察・検査、担当者との懇談 ・諮問：11/5 答申：12/9 (全委員出席) ・総合検査：11/8 検討審査：11/26～11/28
教育支援委員の学校訪問	学教G・対象校	9～11月実施
1日体験入学	全小学校	1～2月各学校で実施

②その後の一貫した支援

・各種研修会

【登別市特別支援教育振興協議会主催 夏季研修会】

日 時：8/1 14時～16時 場 所：市民会館

内 容：「就学指導に関わる諸検査の実施方法及び分析法～適正な就学決定のために～」

講 師：北海道教育庁胆振教育局 教育支援課義務教育指導班 指導主事 田中 麻美 氏

【登別市特別支援教育振興協議会主催 冬季研修会】

登別市特別支援教育振興協議会主催日 時：12/26 14時～16時 場 所：市民会館

内 容：「教育と福祉の連携～大人の支援から教育と福祉の連携について考える 就労支援に寄せて～」

講 師：登別市総合支援センターen センター長 北條 智幸 氏

・登別市特別支援教育振興協議会主催 特別支援学級作品展 10/18～10/25

目 的：作品を通じた交流により間接的に思いを感じたり伝えようとしたりする態度を育成し、コミュニケーション能力の向上を図る。

・関係部局との連携

○5歳児相談（保健福祉部健康推進グループ） 年10回

子どもの状況を早期から把握し、学教教育にスムーズにつながるよう、市内の小・中学校での特別支援の状況の説明や子供の様子に不安のある保護者との教育相談を実施した。

5/29	初就学に向けた説明会10名	教育相談3名
6/28	初就学に向けた説明会7名	教育相談0名
7/19	初就学に向けた説明会5名	教育相談0名
9/30	初就学に向けた説明会10名	教育相談0名
10/25	初就学に向けた説明会12名	教育相談0名
11/22	初就学に向けた説明会13名	教育相談1名
12/20	初就学に向けた説明会6名	教育相談0名
1/29	初就学に向けた説明会12名	教育相談0名
2/19	初就学に向けた説明会12名	教育相談0名
3/18	初就学に向けた説明会12名	教育相談1名

○就学説明会（保健福祉部障がい福祉グループ）

次年度就学する子がいる家庭を対象に「就学の流れを知ろう」をテーマに実施した。

日時： 7/3 10時～12時30分 鉄南ふれあいセンター

講話参加者：17名 個人懇談：10名

評価	<p>登別市教育支援委員会の活動に、各学校の特別支援教育コーディネーターや関係機関の担当者、保護者とのきめ細かな連携に努め、教育相談を適切に実施し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実を図るとともに、就学後も必要に応じて進めることができた。特に、新入学児童の就学に関わっては、教育支援委員会の調査員が幼稚園、保育所、療育機関を訪問し、児童の観察、担当者からの聞き取りを丁寧に行うなど、児童の適正な学習環境の整備を目指して取り組んだ。</p> <p>学校における支援ファイル「ふくはうち」の利用促進のほか、保健福祉部健康推進グループや障がい福祉グループが行う就学前の児童を対象とした相談の機会に、特別支援教育の説明や個別の教育相談を実施し、教育と福祉が連携することで、一貫した子育て環境を目指した取組を推進することができた。</p> <p>言語障害通級指導教室（幌別小・鶩別小）では、言語障害に加えてコミュニケーションや情緒面の困難を併せもつ児童の指導に取り組むことができた。</p>
今後の方向性	特別支援教育については、教育支援委員会による教育相談の実施や関係機関との連携を強化し、切れ目のない一貫した指導や支援体制を確立するとともに、各学校においては特別支援教育コーディネーターが中心となり、個別の教育指導計画を作成し、複雑化、多様化する個々のニーズに応じた指導・支援を継続していく。

※登別市支援ファイル「ふくはうち」とは…障がいのある方や発達に心配のある方の情報を保健・福祉・医療・教育・就労などの関係機関で共有することで、地域の中で一貫した継続的な支援が受けられるよう、本市保健福祉部障がい福祉グループが作成したもの。

項目	9 安全対策・安全指導
点検内容	安全対策・安全指導については、近年の厚さ対策の一環として北海道教育委員会が長期休業日に関する学校管理規則を改正し、令和6年度については、校長会と調整し、夏季休

	<p>業日数を30日、冬季休業日数を20日とする。</p> <p>また、防災教育の一環として、学校が実施する避難訓練や一日防災教室、フェーズフリーの考え方を意識した日常的な取組のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるように、危機管理マニュアルを常に見直しながら、事故等の未然防止に向けた教育活動を推進した。</p>
--	--

取組状況

○交通安全指導

小学校～入学前、学校説明会で通学路地図を保護者に手渡し、実際に保護者と歩くことを推奨。新学期に合わせ交通安全教室実施。入学後、教職員による登下校指導や自転車の実地指導実施。中学校～新学期に合わせ交通安全教室実施。自転車通学を認めている学校ではパンフレット等作成し指導を重ね、安全意識啓発。

○ネットパトロールによる取組

- ・道交委委託事業者から情報提供に基づき、その状況に応じて全体あるいは当事者に指導し、保護者に協力を求めるもの。

○通学路の安全

- ・危険箇所の把握と改善～各校から通学路危険箇所の報告を受け、道路管理者など関係機関と通学路の合同点検を実施後、通学路安全推進協議会を開催し、合同点検箇所の結果の共有や危険箇所に対する対策メニューを決定し、一部の危険箇所について対策を実施した。

【協議会参加者】北海道開発局室蘭開発建設部・胆振総合振興局室蘭建設管理部・室蘭警察署交通課
登別市都市整備部・市民生活部・登別市教育委員会学校教育グループ

- ・通学路安全プログラムに基づく危険箇所は29箇所であり、市公式ウェブサイトや各校通学路安全マップ等で周知を図っている。
- ・地域や保護者の協力を得た見守り活動～町内会等地域ボランティアによる見守り活動のほか、保険会社や郵便局など、市が協定を結ぶ企業と情報共有をして進めた。

○防犯教室

幌別小	<p>4月（4/23～4/26） 安全指導週間 (不審者対応等 室蘭警察署よりビデオ借用、各学級で視聴と指導) 12/1 薬物乱用防止教室（5・6年 講師：室蘭警察署向井氏） 犯罪の現状について講話を受け、トラブルに巻き込まれないために気を付けるべきことについて理解を深めることができた。</p>
幌西小	7/18 不審者対応訓練（全学年） 講師：室蘭警察署生活安全係
鶩別小	10/18 不審者等対策避難訓練 講師：室蘭警察署員 対象：全学年
登別小	6月 不審者対応訓練（全学年）・・・※令和6年は実施なし（隔年実施予定） 10/29 スマホ安全教室（全学年）
富岸小	5/9 交通安全教室 9/9 スタディちゃんの家出前講座 1・2年 12/10 防犯教室 4年 ※室蘭警察署生活安全課小野係長 来校
幌東小	5/30 不審者対応訓練
若草小	5/10 交通安全教室（1・2年） 5/14 交通安全教室（4・6年） 5/22 交通安全教室（3・5年）
青葉小	5/17 防犯教室（4・6年） 7/9 防犯教室（3・5年）

幌別中	7/22 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員 12/19 1年生冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員 12/20 3年生冬休み前啓発集会 講師：人権擁護委員 12/23 2年生冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鶩別中	7/19 1年 携帯安全教室(室蘭警察署) 3/6 3年 薬物乱用防止教室(室蘭警察署)
登別中	4/22 非行防止教室(講師：室蘭警察署) 8/30 携帯スマートフォン安全教室(講師：KDDI社員) 10/29 3年薬物乱用防止教室(講師：保護司会)
西陵中	11/25 薬物乱用防止教室(3年 学年道徳)
緑陽中	4/10 交通安全教室 11月 薬物乱用防止授業

○情報モラル教育～インターネット安全教室

幌別小	11/1 スマートフォンや携帯電話の利用方法・マナーについて学ぶ。 対象 全学年児童、全保護者 講師：KDDI村田氏
幌西小	7/8 インターネットやスマートフォンの安全な利用法やネットトラブルなどについて「auスマートフォントラブル講座 初級編」の動画を活用し学級ごとに指導（高学年）
鶩別小	12/2 携帯電話インターネット安全教室（5・6年）-NTTドコモ-
登別小	10/29 スマートフォン安全教室(全学年) 外部講師：室蘭警察署員 実際の被害事例に基づき、危険性と安全な使用の仕方についての講話。
富岸小	「ケータイ・スマートフォン3つのルール」強調ウィーク 2/4 メディアトラブル講座（保護者対象）※新1年生1日入学に合わせた
幌東小	8/26 4年以上対象 ネット安全教室
若草小	10/4 NTTドコモ安全教室（2・3・6年） 1/22 LINE安全教室（5年） 2/4 KDDIスマートフォン安全教室（1・4年）
青葉小	5/17 防犯教室「スマートフォン・ネットトラブル等」（4・6年生） 室蘭警察署員
幌別中	7/22 非行防止教室 講師：市教委社会教育G職員 12/19 1年 冬休み前啓発集会 講師：室蘭警察署員
鶩別中	7/19 1年 携帯安全教室(室蘭警察署) 12/13 スマートフォンの危険性について 新入生保護者説明会にて新入学生保護者対象 (室蘭警察署員)
登別中	4/22 非行防止教室(講師：室蘭警察署員) 8/30 携帯スマートフォン安全教室(講師：KDDI社員)
西陵中	6/25 スマートフォン・ケータイ安全教室(全学年対象：全校道徳)
緑陽中	4/25 SNSトラブル防止教室

○インターネット使用に関わる指導や啓発の取組

- ・小4から中3まで、ゲーム機やスマートフォン等インターネット機器に関する調査を年1回(5～6月)実施
※「自分専用のインターネットが使用できる機器の所有率」 令和5年5月調査結果 ※（ ）は昨年度
小4 76.7% 小5 85.3% 小6 91.5% 中1 92.3% 中2 92.4% 中3 93.8%
(小4 83.3% 小5 76.1% 小6 87.6% 中1 93.2% 中2 95.8% 中3 98.4%)
- ※「スマートフォン所持率」 令和5年5月調査結果 ※（ ）は昨年度
小4 33.2% 小5 38.5% 小6 55.4% 中1 72.9% 中2 81.0% 中3 88.0%
(小4 31.5% 小5 46.8% 小6 47.8% 中1 74.1% 中2 80.7% 中3 87.3%)

※「スマホ・携帯の1日の使用時間が3時間以上の割合」 令和5年5月調査結果 ※()は昨年度

小4 13.8% 小5 19.2% 小6 31.6% 中1 20.8% 中2 28.9% 中3 31.1%)

(小4 12.8% 小5 20.4% 小6 18.2% 中1 20.7% 中2 32.3% 中3 29.5%)

- ・各学校では「ケータイ・スマホ3つのルール」に基づき、児童生徒への指導や保護者への啓発を強化。学校運営協議会で協議する場面も多く見られた。

○避難訓練

学校名	取組内容
幌別小	避難訓練(地震・火災) 5/15 教室から避難 7/1 休み時間の避難 集団下校訓練 学期1回 校外班ごとによる下校訓練 避難訓練(津波) 9/2~9/6 幌別中グラウンドへ避難
幌西小	5/20 火災想定避難訓練 9/6 津波避難訓練
鷺別小	5/21 火災避難訓練 講師:消防署職員 9/6 一日防災学校津波避難訓練(全校児童による垂直避難経路確認) 北海道シェイクアウト 胆振防災教育デー
登別小	4/23 火災避難訓練 7/4 立ち止まり訓練(中休み) 9/11 地震・津波・大雨洪水避難訓練(高台避難想定) 12/5 立ち止まり訓練(中休み) 1/22 身支度訓練
富岸小	5/2 地震・火災時の避難訓練 7/8 休み時間を想定した地震・火災時の避難訓練 9/19 地域連携避難訓練(津波避難)亀田公記念園まで避難、富岸町内会の避難誘導協力 9/19 引き渡し訓練
幌東小	5/1 火災避難訓練 9/13 津波避難訓練 1/31 津波を想定した避難訓練、工学院女子寮ドミトリーほろべつまで避難
若草小	5/9 火災避難訓練 7/5 引き渡し訓練 8/27 シェイクアウト訓練 9/6 地震津波避難訓練 11/19 シェイクアウト訓練
青葉小	5/2 引き渡し訓練 5/14 避難訓練(火災想定) 9/6 避難訓練(地震・津波想定)
幌別中	6/5 火災想定避難訓練を実施 9/5 1年 防災学習 災害と避難 消防署 9/10 2年 防災学習 救急救命 消防署 9/12 3年 防災学習 避難所体験 市防災課
鷺別中	6/21 避難訓練(火災) 9/6 避難訓練(津波)高台(室蘭自動車学校方面)の避難場所への移動
登別中	4/24 火災を想定した避難訓練 9/6 地震津波を想定した高台避難訓練
西陵中	4/5 AED研修 4/26 火災を想定した避難訓練 9/6 胆振防災教育デー
緑陽中	5/1 火災避難訓練 9/4 津波避難訓練

評 価	<p>防犯教室は、近年の不審者通報や実際の被害の増加の傾向を踏まえ、各学校が警察署等の協力を得て、身を守るための具体策を講話や訓練によって学ぶ機会を設定することができた。</p> <p>携帯・スマホの所持率増加を受け、生活リズムの乱れや人間関係のトラブルに対応するため、携帯電話会社やN P O 法人の協力を得て、情報モラルに関する教室・授業を行った。</p> <p>通学路の安全については、通学路安全推進協議会を開催、報告のあった危険箇所について、関係部署に情報提供した。</p> <p>避難訓練や一日防災教室のほか、災害等が発生した場合、児童生徒が自ら適切に対応できるよう、平時からフェーズフリーの視点を生かした教育活動を実施した。</p>
今後の方向性	<p>安全対策・安全指導については、防災教育の一環として、学校が実施する避難訓練や一日防災学校、フェーズフリーの考え方を意識した日常的な取組により、防災意識や危険予測意識が高まるよう、安全指導を繰り返し行っていく。</p> <p>危機管理マニュアルについては、いざというときに迅速かつ的確に対応できるよう、日頃から確認し状況に応じた改善を図っていく。</p> <p>また、日常的に交通安全や事故等の未然防止の指導を徹底し、自分の身は自分で守る意識を高める取組を推進していく。</p>

項 目	10 学校の適正配置
点検内容	<p>登別中学校については、令和6年8月に学校統合委員会より最終的な意見書が提出されたことを受け、幌別中学校との統合後の環境整備等に関する方針を策定した。10月に設置した両校関係者で組織する学校統合委員会において、教育課程のあり方のほか、生徒同士の事前交流事業や特色ある教育の取組、通学方法などに関する議論を進めていく。</p> <p>また、近年の登別市の出生数の激減による少子化の加速傾向を考慮し、平成26年5月に策定した「登別市学校適正配置基本方針」を令和7年3月に改訂した。</p>

取組状況

令和3年8月、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」(以下「グランドデザイン」という。)を策定し、学校の適正配置に向け取組を進めてきた。

幌別中学校と登別中学校の統合について、令和6年8月に統合後の環境整備等に関する方針を定め、10月には統合準備委員会を設置するなど一定の方向性が定まったことから、グランドデザイン第2期を見据えて「登別市学校適正配置基本方針」を改訂するため、令和6年10月に「登別市学校適正配置基本方針改訂委員会」を設置し検討を進め、また、意見公募(パブリックコメント)を経て、令和7年3月に改訂を行った。

【学校の適正配置に関する協議等（令和6年度）】

(登別中学校区における地区別検討委員会・学校統合委員会)

令和6年6月20日 第4回新校区検討部会

令和6年8月 1日 第3回幌別中学校と登別中学校の統合に関する学校統合委員会

令和6年8月5日 「幌別中学校と登別中学校の統合に関する意見について」が提出

(登別市学校適正配置基本方針改訂)

令和6年10月11日 第1回登別市学校適正配置基本方針改訂委員会

令和6年11月 7日 第2回登別市学校適正配置基本方針改訂委員会

令和6年11月26日 第3回登別市学校適正配置基本方針改訂委員会（書面開催）

令和7年1月31日～ 意見公募（パブリックコメント）

令和7年3月27日 令和6年度第12回定例教育委員会で可決（議案第20号）

評価	令和3年8月に公表した「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」に沿って具体的な取組を進め、令和7年4月に幌別東小学校と幌別小学校が、令和9年4月に幌別中学校と登別中学校が、それぞれ統合することを決定した。 また、グランドデザイン第2期に向けて、登別市学校適正配置基本方針を改訂するなど、取組を着実に進めた。
今後の方向性	令和7年度に、「登別市小中学校の適正規模・適正配置の指針～将来における小中学校のグランドデザイン～」の見直しを行うとともに、児童生徒数の減少が加速しているなかでも、登別市の子どもたちのより良い教育環境を確保していくため、適正配置の取組を進めて行く。 令和7年4月の幌別小学校と幌別東小学校の統合については、児童が安心して楽しく学校生活を送ることができるよう、学校と連携し、きめ細やかな対応を進めていく。 令和9年4月に統合する幌別中学校と登別中学校については、両校の教職員による「統合準備委員会」と市教育委員会が連携して、統合後の環境整備や統合にあたって生じる課題への対応方法などについて協議を続けていく。

項目	11 社会教育
点検内容	市民一人ひとりが、生きがいをもって自分らしさを發揮することができる生涯学習社会の実現に向けて、引き続き、各種施策に取り組んでいく。

取組状況

○「第6次登別市社会教育中期計画」に基づいた主な施策

・人づくり①青少年世代～これからのまちづくりを担う青少年の健全育成と地域教育力の向上

地域学校協働本部事業	各中学校区	コーディネーターを配置し体験活動を実施
少年の主張大会	鷺中	6/5 中学生が日常生活での体験や日ごろ考えていること等について発表を行う少年の主張大会を開催した。
放課後子ども教室	鷺小・東小	放課後に子どもが安全・安心に活動できる居場所づくり ひなわしメート131名登録 はまなすメート13名登録 ※はまなすメートは東小の統合に伴い、令和6年度末をもって休止
二十歳のつどい	市民会館	1/12 市と実行委員による企画、運営 出席者 316/493名

・人づくり②成人世代～学習意欲の向上の奨励と地域活動の担い手の発掘・育成

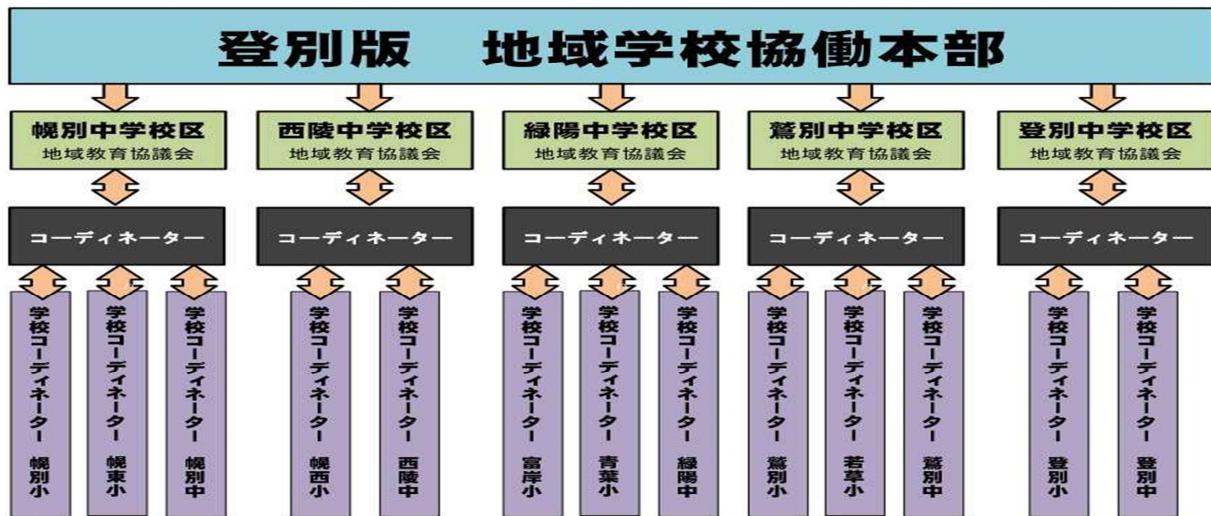
P T A連合会助成金	会員数3,395名	市内の小中学校及び高等学校等のP T Aで構成され、研究大会等を実施する登別市P T A連合会を支援。
-------------	-----------	---

・人づくり③高齢者世代～学習機会の充実と地域の模範となる高齢者の活躍による地域教育力の向上

登別ときめき大学	78名登録	事務局主催の基礎コースと各団体の講座を連携コースとした生涯学習事業。基礎コース8講座
----------	-------	--

・学習環境の整備～学びの循環と市民の学習の場の確保

家庭教育学級	20名参加	子育てに関する様々なことを学ぶ学習会事業。4回実施。
--------	-------	----------------------------



○「学校支援地域本部」から「地域学校協働本部」への発展について

- これまで「学校支援地域本部」として推進してきた体制を基盤とし、令和元年度より「地域学校協働本部」へと移行し、「学校コーディネーター」を各学校に1名配置することを目指し、段階的に体制整備を進める。

評価	市民一人ひとりが生きがいを持って自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、人づくりという観点から各世代に応じた事業を展開することができた。 5つの中学校区に配置されているコーディネーターを中心に、学校コーディネーターの配置など体制の強化に努めた。
今後の方向性	市民一人ひとりが、自分らしさを發揮することができる生涯学習社会の実現に向けて、引き続き、各種施策の推進を図っていく。

項目	12 文化・スポーツの振興
点検内容	文化・スポーツの振興については、「第3次登別市スポーツ推進基本計画」及び「第3次登別市文化振興基本計画」を策定し、市民がスポーツや文化芸術に継続的に親しむことができる環境づくりを推進するとともに、世代や団体の垣根を越えた地域とともに文化・スポーツの振興に向けて、事業の集約化や関係団体相互のさらなる連携の強化に取り組み、より効率的で効果的な事業を展開していく。 また、中学校部活動の段階的な地域移行の推進については、引き続き「登別市地域クラブ」を運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、新たなスポーツ・文化芸術チームの休日の活動開始や先行して実施している野球・サッカーチームの平日の活動開始に向けて学校関係者等と連携して取り組んでいく。

取組状況

- 西いぶり定住自立圏文化事業
「春風亭小朝 落語独演会」
9/8 来場者601名 主管：登別市

○小学校での文化芸術体験～舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）～

文化庁実施事業の活用。市内小学校6年生を対象に実施。

演目 ミュージカル「ルドルフとイッパイアッテナ」

公演団体 ミュージカルカンパニーイッツフォーリーズ

ワークショップ9/2 代表校の青葉小学校で開催（ミュージカル中の歌唱や振付の練習）

公演 11/20 市民会館大ホールで開催 青葉小児童が出演

○学校での郷土芸能の伝承

鷺別小学校～鷺別子ども獅子舞（令和5/3/31付けで休止のまま）

幌別東小学校～幌別駒踊り 12/7 幌別地区市民演芸会

登別中学校～熊舞 7/19 熊舞ヌブル公演

8/24 地獄まつり（登別温泉）

12/13 熊舞引継式（登別中学校）

○地域クラブ活動推進事業

市立中学校の生徒が継続してスポーツ・文化活動に親しむことができるよう、新たな地域クラブの運営を推進するための支援等を実施

【主な支援内容】

- ・総括コーディネーターや文化・スポーツ推進コーディネーター（地域おこし協力隊）を配置し、地域クラブの運営支援
- ・地域クラブ活動への移行にかかる中学校等との調整
- ・登別市地域クラブの平日活動における巡回バスの運行 等

【登別市地域クラブ活動概要（令和6年度）】

- | | | | | |
|-------|------|-------------------------------|------------|------------------|
| ・活動種目 | 6チーム | ～ | 平日・休日ともに活動 | サッカー、野球、男子バレー、卓球 |
| | | | 休日のみ活動 | ソフトテニス、卓球 |
| | | | 平日のみ活動 | 合唱 |
| ・会員数 | 135名 | （令和7年3月31日時点） | | |
| ・指導者数 | 28名 | | | |
| ・活動日数 | 202日 | （平日：147日（うち、長期休業中21日）、休日：55日） | | |

○一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が実施する文化・スポーツ事業への補助

【文化振興事業】

（1）主催事業

初心者英会話教室	6/3. 6. 10. 13. 17. 20 9名	一般の方を対象に市民会館にて実施
筆ペン習字教室	9/4. 11. 18. 25, 10/2. 23 4名	一般の方を対象に市民会館にて実施
ビーズアクセサリー教室	9/26 4名	一般の方を対象に市民会館にて実施
燻製作り体験	11/22 7名	一般の方を対象に市民会館にて実施
スイーツデコ教室	7/28 7名	小学生を対象に市民会館にて実施
楽しい工作教室	7/27 7名	小学生を対象に日本工学院にて実施
美味しいコーヒーの淹れ方教室	11/7 13名	一般の方を対象に市民会館にて実施
親子木育体験	10/26 10名	親子を対象に市民会館にて実施
道新ジュニアクラシック 「登別市小・中学生の	6/20 537名	登別小、鷺別小、鷺別中、登別中、登別明 日中等教育学校前期を対象に市民会館に

ための札響コンサート」		て札響コンサートを開催
八神純子コンサート	2/7 339名	一般の方を対象に市民会館にて実施
一龍齋貞鏡 独演会	7/21 240名	一般の方を対象に市民会館にて実施

(2) 共催事業

市民文化祭	8/26～11/26	各地区において実施
文化講演会 (田中賢介講演会)	11/17 400名	一般の方を対象に市民会館にて講演会を実施
小中学生書初展	2/7～9 248名	市民会館にて小・中学生の書き初めの展示

【スポーツ振興事業】

(1) 主催事業

初心者レディースゴルフ教室	中止	講師の都合がつかず中止
温泉散策ウォーキング	5/18 14名	登別温泉にて一般の方を対象に実施
ジュニアソフトテニス 教室	1/7. 8. 10 3名	総合体育館にて小学生以上を対象に実施
ファミリーフィッシング	7/14, 10/14 16名	室蘭港にて親子を対象に実施
走り方教室	3/8 33名	総合体育館にて小学生を対象に実施
初心者スノーボード教室	中止	参加希望がおらず中止
キッズHIPHOP教室	1/11. 18 9名	市民プールにて幼児を対象に実施
ダンスレッスン派遣事業	1/29, 2/18 157名	令和6年度は幌別中と緑陽中に派遣
水泳教室（トップアスリート）	1/25. 26 27名	市民プールにて小学生以上を対象に実施
軽スポーツ指導者派遣事業	11/14 80名	市内各施設にて小学生以上を対象に派遣
市民ソフトボール大会（夏）	6/23 60名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催
市民ソフトボール大会（秋）	10/6 138名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会（シニア）	12/20 21名	GIGO BOWL室蘭にて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会（一般）	3/18 17名	GIGO BOWL室蘭にて一般の方を対象に開催
市民モルック大会	10/27 39名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催

(2) 共催事業

市民ミニバレー大会	12/8 63名	総合体育館にて一般の方を対象に開催
市民健康フェスティバル	10/6 660名	岡志別の森運動公園、市民プールにて一般の方を対象に開催

(3) その他事業

放課後運動教室事業	通年	【実施小学校】市内8小学校 【実施回数】 71回 【参加者累計総数】3,379人 【実施内容】バドミントン、跳び箱、マット遊び 等
-----------	----	--

○その他の健康づくり、スポーツ振興事業

市民ラジオ体操会	7/27	富岸小、幌別東小を会場に実施 参加人数146名
西胆振6市町小学生 スポーツ交流会	5/18	西胆振3市3町の小学生を対象としたスポーツ大会（陸上競技）を日鋼室蘭スポーツパークで実施 参加延べ人数 127名 うち、登別市民17名

学校体育施設開放事業	4月～3月	12施設(小8校、登中、緑中、幌中、西陵中を開放) 延べ開放日数1,982日 延べ利用団体1,649団体 延べ利用人数22,818名
------------	-------	--

○社会教育施設の主な改修等

市民プール	照明LED化改修工事 太陽光発電設備設置
市民会館	舞台吊物ワイヤ交換修繕 屋外キューピクル外装修繕
総合体育館	屋外キューピクル外装修繕

評価	<p>各種事業を通じて、市民一人ひとりの豊かな感性や創造性を育み、心豊かな生活を送り、生きがいを感じができるような文化活動を進めることができた。</p> <p>また、スポーツについても、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が実施する市民健康フェスティバルや放課後運動教室、各種初心者教室等の実施により、地域の方々や子供たちに広くスポーツ活動の機会を提供することで健康増進や運動能力の向上を図ることができた。</p> <p>そのほか、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が運営する「登別市地域クラブ」において、6種のチーム活動を開始するとともに、サッカー・野球、男子バレー・ボーラーについては、平日も含めた活動を開始し、中学校部活動から完全移行するなど、着実に地域展開を進めることができた。</p>
今後の方向性	<p>文化・スポーツを取り巻く環境が大きく変化している中、令和7年3月に策定した「第3次登別市文化振興基本計画」及び「第3次登別市スポーツ推進基本計画」に基づき、一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団、登別市文化協会、登別市スポーツ協会などの関係団体と適切な役割分担のもと、連携・協力して文化・スポーツの振興の取組を続けていく。</p> <p>また、中学生の新たな活動の場として令和5年度より運営を開始した「登別市地域クラブ」については、サッカー・野球・合唱など、6種のチームが中学校の垣根をこえて活動を進めているが、引き続き運営主体である一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、令和7年度は、平日も含めた地域展開に向けて、活動チームや活動内容の拡充を進め、中学生にとって望ましい文化・スポーツの環境づくりに取り組んでいく。</p> <p>スポーツ活動の基盤となるスポーツ施設については、市民プールにおける空調設備や、岡志別の森運動公園におけるテニスコートのナイター照明を更新するなど、環境整備についても継続していく。</p>

項目	13 ふるさと教育
点検内容	<p>ふるさと教育については、学びの拠点となる「郷土資料館」や「のぼりべつ文化交流館」の在り方について検討を進める。</p> <p>また、郷土資料館の歴史資料について、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、デジタルアーカイブ化を継続して推進する。</p> <p>引き続き、アイヌ文化講座等の事業をとおして、アイヌ文化の振興に努める。</p>

取組状況

- 郷土の歴史や文化に関する各種講座開催の奨励
- 郷土の歴史を明らかにする文化財の保存、管理
- アイヌ文化の伝承や普及・啓発～登別アイヌ協会や関係NPO法人等の取組支援、事業を通じた「ヌフル」との連携、登別アイヌ協会が実施する儀式の記録撮影のほか、NPO法人知里森舎主催事業の周知等で支援を行った。

(公財)北海道アイヌ協会主催事業に係る経費の一部を補助した。

◇縄文出前講座 5～7月 市内小学校5校で実施 (6年生254名参加)

◇古文書教室 2/1・8・3/1 古文書解読の講座・実践・見学編(計3回)を実施。延べ82名参加。

◇アイヌ文化講座

(制作・体験) 6・7月

登別アイヌ協会の会員等を講師にアイヌ民族の歴史や文化の講演やアイヌ文様の刺しゅうを施したファブリックパネル制作、銀のしづく記念館見学等全3回の講座を実施。参加者延べ38名。

(講演) 5/18 床絵美氏・郷右近富貴子氏より観光地である阿寒湖アイヌコタンとアイヌ文化の継承に関するお話しと歌などの実演。参加者33名。

◇歴史交流事業

令和6年度は宮城県白石市へ学芸員2名を派遣し、資料の返却や講演、文化財担当職員との交流などを実施した。

◇郷土資料館特別展 2回開催

◇郷土資料館企画展 2回開催

◇郷土資料館所蔵資料のデジタルアーカイブ化

◇体験学習事業

・郷土資料館事業 5/11 第1回郷土資料館まつり

・文化伝承館事業 通年 ボランティアSLGによる、べこもちづくりなどの体験 13事業を実施162名参加

・のぼりべつ文化交流館 4～10月の間に事業を実施 181名参加

◇各種講演等 (学芸員派遣)

R6.3～R7.2 民間企業の展示への協力 など

評価	郷土資料館やのぼりべつ文化交流館等で、ふるさと教育の基となる文化財の保存、普及・活用の取組を進めるとともに、登別市の歩みを形づくる歴史資料を将来にわたって保存するとともに、まちの魅力をより伝えることができるよう、老朽化した「のぼりべつ文化交流館」を廃止し、「郷土資料館」へ統合することを決定した。 また、知里幸恵に関連する資料のレプリカを作製し、郷土資料館の展示を充実させるとともに、原資料を良好な状態で後世に引き継ぐことができるよう、銀のしづく記念館に貸し出し原資料を収納するなどして活用できるようにした。
今後の方向性	「のぼりべつ文化交流館」の廃止と「郷土資料館」の統合にあわせて郷土資料館のLED化と展示のリニューアルを実施し、歴史を通した「ふるさと登別」の魅力発信に努める。 アイヌ文化の振興については、アイヌ民族の歴史や文化を学ぶ講座を開催するとともに、登別アイヌ協会やNPO法人知里森舎などが取り組む各種事業を支援し、引き続きアイヌ文化の普及啓発に取り組んでいく。

項目	14 青少年の健全育成
点検内容	青少年の健全育成については、引き続き「家庭教育学級」を開設し、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会の確保を図るとともに、親子が共に学び、育ち合う家庭教育の充実に努める。 また、青少年センターを中心に、街頭指導や巡回指導などに取り組むとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施するなど、学校・家庭・地域と連携し、子どもの非行防止や登下校時の安全確保に努める。

家庭教育の取組状況

○市が主体となって、保育所、幼稚園、小学校の保護者等を対象に1学級を開設し、交流を図りながら子育てに関する様々なことを学ぶことのできる学習会（講演会・体験講座等）を年に4回実施した。

第1回	6/26	「こどもや家族が安心して暮らせる！防災意識のお片付け」 ～元消防士20年！6,000件の救急現場で体感した、災害に強い家になるお片付け～
第2回	7/16	思春期/反抗期の子育て基本の”キ”
第3回	9/28	知っておこう！子どもの命を守るためにできること ～普通救命救急講習Ⅲ（0歳から 幼児期までの小児コース）～
第4回	10/11	身長・学力・運動を伸ばすカギは食事にある！ ～家庭ではじめる栄養学～

○「放課後子ども教室」～放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことができる活動拠点づくり

活動日時～平日2日間、4～9月午後5時まで 10～3月午後4時まで

運営～コーディネーターや教育活動センターなど地域の方々による実行委員会が主体。

鷺別地区放課後子ども教室「ひなわしメート」 計 88日間実施 計 5,172名

幌別東小学校区放課後子ども教室「はまなすメート」 計 88日間実施 計 475名

○「地域学校協働本部事業」 参加者数 計 6,849名（大人・児童・生徒とも）

【鷺別中学校区（鷺別小・若草小・鷺別中）】

鷺別小学校	事業内容
4～5月	五月人形飾り 2回
5～2月	鬼つ子算数教室 8回
6～11月	畑・花壇整備 8回
9/18	世代間交流
2～3月	ひな人形飾り 2回
1/17	スキー授業
若草小学校	事業内容
5月	いもほり
5～3月	鬼つ子算数教室 11回
7/4	世代間交流
2/7	スキー授業
2/9	ふれあい農園土寄せ・授業中のふれあい農園
鷺別中学校	事業内容
4月・9月	登下校見守り

【緑陽中学校区（富岸小・青葉小・緑陽中）】

富岸小学校	事業内容
4月・10～11月	登下校見守り 4回
5月・8月	授業中のふれあい農園 2回
5月～11月	畑・花壇整備
6～3月	鬼つ子算数教室 9回
7/2	世代間交流

12/20	漢字検定学習支援
1/26	冬祭り（3校合同）
1月～3月	家庭課補助
2月	スキー授業 2回
青葉小学校	事業内容
6～2月	鬼っ子算数教室 9回
9/4	世代間交流
1月	漢字検定学習支援
1/26	冬祭り（3校合同）
1/31	スキー授業
緑陽中学校	事業内容
1/26	冬祭り（3校合同）
2/8	餅つき（3校合同）

【幌別中学校区（幌別小・幌別東小・幌別中）】

幌別小学校	事業内容
5～2月	鬼っ子算数教室 11回
7/9	世代間交流
9/28	乗馬体験（3校合同）
2/5	スキー授業
幌別東小学校	
5～2月	鬼っ子算数教室 10回
9/28	乗馬体験（3校合同）
10/28	世代間交流
2/5	スキー授業
幌別中学校	
9/28	乗馬体験（3校合同）

【西陵中学校区（幌別西小・西陵中）】

幌別西小学校	事業内容
4～11月	畑おこし・花壇整備 6回
5～12月	鬼っ子算数教室 11回
6/25	世代間交流
7月・2月	夏休み学習サポート 2回
9/6	地域との合同避難訓練
10/31	マンドリン鑑賞会
11/25	ふれあいスポーツレク
2/1	豆まき
2/14	スキー授業
西陵中学校	事業内容
9/6	地域との合同避難訓練等
6～11月	花壇整備

【登別中学校区（登別小・登別中）】

登別小学校	事業内容
4～3月	鬼っ子算数教室 10回
4/27	さけの放流
5月・8月	ふれあい農園 2回
5月・11月	畑・花壇整備 2回
6/27	地域教育協議会
7月・8月	夏休み地域塾 5回
10/29	世代間交流
1月・2月	スキー授業 5回
登別中学校	事業内容
4～3月	花壇整備 30回

青少年センターの取組状況

○登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導

・市内巡回パトロール（通常・特別）実施状況 ※（ ）内は昨年度実績

	通常巡回		特別巡回 (列車添乗・祭典その他)	合 計
	鷺別・緑陽 校区	登別・幌別・西陵・明日 校区		
延べ日数	230日(221日)	230日(226日)	38日(40日)	498日(487日)
延べ巡回回数	448回(401回)	433回(400回)	51回(55回)	932回(856回)
延べ人員	625人(585人)	613人(576人)	153人(149人)	1,391人(1,310人)
指導人数	18人(7人)	4人(14人)	0人(0人)	22人(21人)

※指導の内訳（その他にはゲームコーナーを含む）

	自転車等			危険な行為			その他			合 計		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
13歳未満	4	6	0	8	15	20	0	0	2	12	21	22
13歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
15歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	6	0	8	15	20	0	0	2	14	21	22

指導内容と推移(前年度比)

「危険な行為」道路で遊ぶ12件(+12件) スケートボード2件(-6件) キックスケーター1件(-6件)

道路に広がってふざけ合う3件(+3件) 車道への急な飛び出し1件(+1件)

走っている車に近づいてくる1件(+1件)

・万引き状況 (調査を依頼し報告を受けたもの)

(単位:件数)

	小学生	中学生	高校生	小中高以外	合計
3年度	1	0	4	16	21
4年度	1	0	0	11	12
5年度	1	1	0	6	8
6年度	1	0	0	11	12

※市内大型店2店舗、市内コンビニ19店舗、その他21店舗、計42店舗の協力による。

・不審者・変質者出没状況

(単位:件数)

	温泉地区	登別地区	幌別地区	鶩別地区	その他	合計
3年度	0	0	8	6	0	14
4年度	0	1	6	11	0	18
5年度	1	6	1	5	0	13
6年度	0	2	4	14	0	20

○こども110番の家 地域住民・商店の協力による子どもの駆け込み場所 372件

○情報の共有

- 登別市青少年指導委員連絡会～学校教員と一般の指導員による交流、状況や指導の重点を確認。
- 登別市小学校・中学校合同生徒指導担当者連絡会議～小学校・中学校他代表教諭による現状や課題などについての情報交流、協議、問題行動の早期発見や未然防止を図る。
- 不審者出没状況調書、巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調書による情報発信。

評 価	家庭教育学級では、学習会の開催を通して、家庭の教育力の向上を図る場を提供することができた。 放課後子ども教室、地域学校協働本部事業においては、地域ボランティアの協力のもと、子どもたちに豊かな学びの場を提供することができた。 巡回パトロールでは、突発的な事案発生に伴う特別巡回の実施など、状況に応じた対応を執ることができた。
今後の方向性	青少年健全育成については、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域との連携のもと、街頭指導や巡回指導などを通じて青少年の非行防止に努めるとともに、不審者と遭遇した場合などを想定した「こども110番スタディちゃんの家」への駆け込み訓練を継続して実施し、登下校時における子どもたちの安全確保に努める。 また、子どもたちの健やかな成長を促し、豊かな人間性を育むため、家庭における教育力の向上を目的とした「家庭教育学級」を引き続き開設し、保護者が子育てに関する情報や基本的な生活習慣などを学び合う場を提供していくほか、放課後子ども教室及び地域学校協働本部事業において、地域ボランティアと協力しながら、子どもたちに豊かな学びの場を提供していく。

項目	15 学校給食
点検内容	学校給食については、引き続き衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、地場産品をできる限り取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。 学校給食費については、令和6年度においても据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行っていく。 また、学校給食センターについては、令和11年度中の供用開始を目指し、室蘭市と広域設置の合意書を取り交わしたところであり、令和6年度については、基本計画の策定に向けた準備など、具体的に協議を進めていく。

取組状況

○地元の食材を積極的に取り入れた献立づくり（使用回数 98 回 使用率 48.0% ※牛乳除く）

「のぼりべつ牛乳」をはじめ、だし昆布など、地場産品の積極的な活用に努めたほか、令和 6 年度は新たに登別産エゾシカ肉を使用した。

また、野菜については入札規格等において近隣市町村産品または道産品を指定し、広域的な地産地消の取組も実施した。

献立についても、「えんまラーメン」など、地元を身近に感じられる献立を提供したほか、登別明日中等教育学校の生徒とともに考案した「さばカレー」と「豆乳とキノコのスープ」も提供した。

○発達期にある児童・生徒に豊かでおいしい給食の提供

文部科学省の学校給食摂取基準等に基づき、栄養教諭が献立を作成するなど、児童・生徒の栄養価やエネルギーなどバランスの摂れた給食を提供した。児童・生徒の体力不足を補い丈夫な体をつくるため、学校教育 G と連携して各小学校に栄養教諭を派遣し、食育授業を年 13 回実施した。

○「和食」を伝えるための給食の実施

食育の日である毎月 19 日付近を「和食の日」とし、主食・主菜・副菜・汁物を揃えたメニューを提供した。

月	和食の日の献立	月	和食の日の献立
4月	ごはん、豚汁、ホッケ和風フライ、ひじき大豆煮	10月	ごはん、けんちん汁、いわしのゆず味噌煮、切り干し大根煮
5月	ごはん、いも団子汁、サバカツきんぴらごぼう	11月	ごはん、もずく入り味噌汁、いわしのゆず味噌煮、うの花
6月	ごはん、せんべい汁、さばの味噌煮、切り干し大根煮	12月	ごはん、かぼちゃ団子汁、いわしのゆず味噌煮、きんぴらごぼう
7月	ごはん、豆腐とわかめの味噌汁、いわしの梅煮、うの花	1月	ごはん、いも団子汁、いわしのゆず味噌煮、ごぼうサラダ
8月	一	2月	ごはん、けんちん汁、さばの味噌煮、ごぼうサラダ
9月	ごはん、いも団子汁、いわしのゆず味噌煮、ひじき大豆煮	3月	ごはん、もずく入り味噌汁、いわしのゆず味噌煮、ひじき大豆煮

※令和 6 年度から夏季休業の日数が増えたことから、8 月に和食の日の献立は提供していない。

○食におけるアレルギー対応

①情報の共有

- ・学校や関係機関（医療機関や消防機関等）と、給食センターのアレルギー対応や各学校におけるアレルギーを有する児童・生徒の状況、緊急時の対応などの情報を共有し連携を図った。
- ・学校や保護者から連絡等があった場合は、一層きめ細やかな対応等に努めた。

②実際の対応～学校から教育委員会を経由し給食センターへ提出される「取組プラン」により対応。

牛乳アレルギー：小学校 11 名→緑茶に変更

中学校（北海道登別明日中等教育学校含む）9 名→緑茶に変更

③給食センターからの情報発信

- 予定献立表（小中学校及び児童・生徒へ配布、給食センターウェブサイト、市 SNS に掲載）
- 主食（パン・麺）や使用調味料の原材料及びアレルゲン一覧表（給食センターウェブサイトに掲載）
- ランチメール（小中学校へ配布、給食センターウェブサイト、市 SNS に掲載）

評価	<p>献立に地元食材及び近隣市町村産品や道産品を活用するとともに、その周知を図ることにより、児童・生徒が地域の食に対する関心を高め、郷土愛を育むことに貢献することができた。</p> <p>また、各小学校に栄養教諭を派遣して実施する食育授業が定着するとともに、栄養学的視点からの授業に偏ることなく、児童・生徒の健康維持・増進及び体位の向上に寄与することができた。</p> <p>学校給食センターの広域設置については、室蘭市と定期的に協議を実施した。</p>
今後の方向性	<p>学校給食については、引き続き衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食の提供に努める。</p> <p>地元食材については、これまで飲用牛乳として提供していた「のぼりべつ牛乳」が製造事業者の学校給食用牛乳用充填機が故障し、復旧の見通しが立たないこと等が原因で提供できない状況となったほか、地元産のだし昆布も海水温の上昇による影響等を受けて令和7年度から使用できることとなったが、可能な限り近隣の食材を活用するように努める。</p> <p>学校給食費については、令和7年度より値上げ改定することとしたが、国の交付金を活用することにより、保護者負担額については、令和7年度においても据え置き、引き続き子育て世帯に対する経済的支援を行っていく。</p> <p>また、室蘭市と広域で設置し、令和11年度中の供用開始を予定している学校給食センターについては、令和7年度中に策定する基本計画を踏まえ、施設整備や運営方法の精査等、引き続き協議を進めていく。</p>

項目	16 図書館
点検内容	<p>図書館については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備を進めるとともに、イベントやデジタル図書の紹介、参考図書室の市民への情報発信を積極的に行い、利用促進を図る。</p> <p>また、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ講習会など保護者への読書啓発に関する事業を実施していく。</p> <p>なお、昭和47年開館の図書館本館については、老朽化が著しいなどの課題があるため、その在り方について検討していく。</p>

取組状況

○令和6年度 図書館全体での貸出冊数 135,364 冊

このうち移動図書館車での貸出冊数 13,837 冊、購入冊数 4,818 冊

○図書ボランティアとの連携・協働

「おはなししづけっと」のおはなし会（12回）、「絵本を楽しむ会」のおはなし会（1回）

「朗読ボランティアの会」の「大人のための朗読会」（2回）

特集展示「おはなししづけっと『赤ちゃんがよろこぶ絵本』」（2/13～27）

○市民や関連機関との協働事業

サタデーブックフェア（4/20、イベントへ図書館として参加）

講演「ミクロ珍獣『トガリネズミって知ってる?』」（6/22、市民提案）

展示「油絵三人展～『にかいめ』の油絵～」（8/22～29、市民提案）

幼稚園・保育所の年長児の読書感想画展（9/15～30、市内幼稚園・保育所）

特集展示「街道重昭写真展－野辺歩きの拾いもの」(9/20～10/20、市民提案)

講演「獲る 食べる 生きる」(11/3、市民提案)

展示『『三かいめ』の油絵三人展～たのしくつづけています～』(2/1～9、市民提案)

講座「あなたの知らない たたらの世界」(2/15、市民提案)

アーニス分館「絵手紙を楽しむ会」(5～10月)

○市役所各部局との連携事業

「登別市立小中学校教科書展」(学校教育グループ、6/27～7/18)

「道民笑いの日」(健康長寿グループ、8/8～14)

「世界アルツハイマー月間展」(健康長寿グループ、8/31～9/13)

「自殺予防展」(健康推進グループ、9/10～16)

「下水道と環境」(下水道グループ、10/3～17)

「論語展」(企画調整グループ、1/18～30)

○ブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図る。

・ブックスタート (4か月児を対象に、絵本2冊とアドバイス集などを配布。実施数161人)

・ライブラリースタート (3歳児と保護者を対象に図書館で本1冊を選び送付。実施数56人)

○主なイベント等の事業 (◇は「ふるさと学習」と関連)

4/20 サタデーブックフェア (参加事業)

5/5 こどもフェスタ 2024

6/1～23 「六田晴洋ミニ写真展」、講演会「ミクロ珍獣『トガリネズミって知ってる?』」(6/22)

6/28 「学校図書担当者・図書ボランティア連絡会議」

7/31 「アーニス分館 夏休みのお楽しみ会」

8/3 「夏休み工作」

8/8～14 「道民笑いの日」展示 共催：登別市健康長寿グループ

8/22～29 「油絵三人展～『にかいめ』の油絵～」

8/31～9/13 「世界アルツハイマー月間」展示 共催：健康長寿グループ

9/15～30 幼稚園・保育所の年長児の読書感想画展

9/20～10/20 「街道重昭写真展－野辺歩きの拾いもの」

10/19～11/3 「獲る 食べる 生きる」展示、講演「獲る 食べる 生きる」(11/3)

11/30～12/25 展示「クリスマスの本」、「クリスマス工作」(12/7)

1/18 「小・中学生の読書感想文コンクール表彰式」

2/15 ◇郷土文化講座「あなたの知らないたたらの世界」(室蘭登別たたらの会)

3/15～4/24 「本と雑誌のリサイクル市」

○毎月 「こども映画会」「名画鑑賞会」「えほんのへやのおはなし会」「デジタル分館のおはなし会」

○新規事業 ①本館・分館にブックカートを設置し、利用者の利便性向上を図った。

②市内3会場で「図書館についての意見交換会」を開催した。

③「登別市立図書館整備検討委員会」を組織し、今後の図書館のあり方を検討した。

評価	市民等による企画提案事業を実施したほか、市内で開催されたイベントに図書館として参加するなど、市民との連携・協働を進めることができた。 また、館内にブックカートを設置することにより、利用者の利便性が向上した。 これらと併せ、3階の参考資料室も活用して市民一人ひとりのニーズにしっかりと対応できる質の高い図書館に向けて、資料・施設・サービスの向上に取り組んだ。
----	--

今後の 方向性	<p>図書館については、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」に基づき、保護者への読書啓発に関する事業を実施するほか、市民に気軽に足を運んでもらえるような講座やイベントなどの取組を工夫していく。</p> <p>老朽化が著しい図書館本館の施設については、現在、登別市立図書館整備検討委員会で移転を含め活発な議論を進めていただいているが、より多くの市民に親しまれる図書館を目指し、検討を続けていく。</p> <p>加えて、将来の建替に備えて「新図書館建設基金」への原資積み立てを再開する。</p>
------------	--

3 重点施策の評定結果

項目	点検内容	R5 評定	R6 評定
1 地域とともに ある学校 づくり	<p>本市においては、近隣の自治体に先駆けて、学校運営協議会と地域学校協働活動を一 体的に推進する中で、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちを育んできた。</p> <p>「地域とつながる創意ある教育活動」を展開するために、学校運営協議会を活用した 地学協働を推進するとともに、各小中学校の発想や工夫を活かして、体験的な学習を重 視した「ふるさと登別」を知る様々な取組を充実させていく。</p> <p>一方、学校週5日制が導入され、市教育委員会が主導して10年間実施してきた「土曜 授業」については、子どもたちや保護者の負担感、部活動の地域移行や教職員の働き方 改革の推進など、学校を取り巻く環境が大きく変化している現状を考慮し、全市で統一 した実施については見直していく。</p>	A	A
2 確かな学力	<p>確かな学力については、タブレット端末を効果的に活用し、子ども一人一人の特性や 学習進度、興味・関心等を踏まえた指導方法や指導体制の工夫・改善を進めていく。</p> <p>また、子ども同士や多様な他者との対話を通した学び合い活動をタブレット端末を活 用することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一 体的に充実させていく。</p> <p>さらに、平常時における家庭へのタブレット端末の持ち帰りを推進し、学校での学習 と家庭での学習の円滑や接続を図っていく。特に、「全国学力・学習状況調査」の結果 から本市の児童生徒の課題となっている「算数・数学」の学習支援として、小学4年生 から6年生までを対象に導入している算数学習アプリを学校や家庭学習、鬼っ子算数教 室で活用し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図る。また、より良い機能を持つ 学習用アプリが新たに開発されているため、どのようなものが子どもの学習内容の定着 に適しているのか調査・研究を進めていく。</p> <p>英語教育については、小学5年生から中学3年生を対象に「英語」のデジタル教科書 を導入したことから、従来の授業とICTの活用を組み合わせ、「主体的・対話的で深 い学び」の実現につなげていく。また、通常の授業はもちろん、夏休みや冬休みにおい ても、児童生徒が1年を通してALTとコミュニケーションをとる機会を設けることによ り、日常より英語に親しむような環境づくりを進め、「聞く・話す」活動を充実させて いく。</p>	B	B
3 豊かな人間 性	<p>豊かな人間性の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通し て、子どもの意見や人権を尊重し、よりよい人間関係を築きながら、自己存在感や自 己有用感を育む取組を続けていく。</p> <p>また、キャリア教育を推進するため、地域資源や地域人材を活用した体験活動を重 視し、「ふるさと登別」のよさを知り、理解を深める教育活動に努める。</p>	A	A
4 健康・体力	<p>健康・体力づくりについては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から も体力の低下が確認できることから、小学校へのスポーツ指導員の派遣などを継続して 体育指導の充実や運動の習慣化を図り、体力向上に向けて組織的に取り組んでいく。</p> <p>また、規則正しい生活習慣を身に付ける取組として家庭における「早寝早起き朝ごは ん」の啓発、「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」について周知徹底するなど、児 童生徒の健全な心身の育成を図っていく。</p>	A	B

5	教職員の 人材育成	<p>教職員の人材育成については、実践的指導力や専門性の向上に意欲的に取り組む教職員の育成に努める。</p> <p>そのため、教職員同士が互いに研鑽する機会として、これまで同様に、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援していく。</p> <p>また、市教育委員会デジタルフェローと連携し、ICTを活用した指導力向上研修に取り組み、校内研修等を通じて成果を広く還元していく。</p> <p>教職員の働き方改革については、ICTを活用した保護者との連絡体制のデジタル化などの業務改善を行い、時間外在校等時間の削減に努める。</p>	A	A
6	いじめ・ 不登校対策	<p>いじめ・不登校対策については、児童生徒がいじめ問題や多様性の尊重について、自らの意見を表明する機会として、令和3年度から実施してきた「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通して、いじめ問題への意識が高まってきたと考えている。令和6年度も「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を引き続き推進していく。</p> <p>また、「SOSの出し方に関する教育」について、令和6年度は中学校で授業を実施し、思春期の心や体についての理解を促すとともに不安やストレス等への様々な対処方法や援助希求行動、他者との望ましい関わりについて考えを深め、身近にいる信頼できる人に早期にSOSを発信できるよう取り組んだ。</p> <p>一方、教職員は悩んでいる児童生徒にいち早く気づき、声をかけることなどが重要であるため、ゲートキーパー研修等を実施することで教職員のスキルアップに努める。</p> <p>さらに、「登別市いじめ・不登校等対策会議」や「生徒指導担当者会議」での事例研修・情報交換を通して、いじめ問題・不登校の未然防止や早期発見・早期解決に向けた組織的な対応を継続し、教育支援センターの役割を明確にして、不登校となった児童生徒に対する個に応じた支援を推進していく。</p>	A	A
7	幼保小中連 携・小中一 貫教育	<p>幼保小中連携・小中一貫教育については、「登別市幼保小中連携協議会」や「登別市幼保小実務担当者会議」を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続していく。</p> <p>また「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、各中学校区で「目指す子ども像15歳の姿」を共有し、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実を図る。</p>	A	A
8	特別支援教 育	特別支援教育については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の実施や関係機関との連携により、幼児期から切れ目のない一貫した支援体制を継続し、個の特性に応じた指導・支援に努める。	A	A
9	安全対策・ 安全指導	<p>安全対策・安全指導については、近年の厚さ対策の一環として北海道教育委員会が長期休業日に関する学校管理規則を改正し、令和6年度については、校長会と調整し、夏季休業日数を30日、冬季休業日数を20日とする。</p> <p>また、防災教育の一環として、学校が実施する避難訓練や一日防災教室、フェーズフリーの考え方を意識した日常的な取組のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるように、危機管理マニュアルを常に見直しながら、事故等の未然防止に向けた教育活動を推進した。</p>	A	A
10	学校の適正 配置	登別中学校については、令和6年8月に学校統合委員会より最終的な意見書が提出されたことを受け、幌別中学校との統合後の環境整備等に関する方針を策定した。10月に設置した両校関係者で組織する学校統合委員会において、教育課程のあり方のほか、生徒同士の事前交流事業や特色ある教育の取組、通学方法などに関して議論を進めていく。	A	A

		また、近年の登別市の出生数の激減による少子化の加速傾向を考慮し、平成26年5月に策定した「登別市学校適正配置基本方針」を令和7年3月に改訂した。		
11	社会教育	市民一人ひとりが、生きがいをもって自分らしさを發揮することができる生涯学習社会の実現に向けて、引き続き、各種施策に取り組んでいく。	A	A
12	文化・スポーツの振興	<p>文化・スポーツの振興については、「第3次登別市スポーツ推進基本計画」及び「第3次登別市文化振興基本計画」を策定し、市民がスポーツや文化芸術に継続的に親しむことができる環境づくりを推進するとともに、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興に向けて、事業の集約化や関係団体相互のさらなる連携の強化に取り組み、より効率的で効果的な事業を展開していく。</p> <p>また、中学校部活動の段階的な地域移行の推進については、引き続き「登別市地域クラブ」を運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援し、新たなスポーツ・文化芸術チームの休日の活動開始や先行して実施している野球・サッカーチームの平日の活動開始に向けて学校関係者等と連携して取り組んでいく。</p>	A	A
13	ふるさと教育	<p>ふるさと教育については、学びの拠点となる「郷土資料館」や「のぼりべつ文化交流館」の在り方について検討を進める。</p> <p>また、郷土資料館の歴史資料について、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、デジタルアーカイブ化を継続して推進する。</p> <p>引き続き、アイヌ文化講座等の事業をとおして、アイヌ文化の振興に努める。</p>	A	A
14	青少年健全育成	<p>青少年の健全育成については、引き続き「家庭教育学級」を開設し、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会の確保を図るとともに、親子が共に学び、育ち合う家庭教育の充実に努める。</p> <p>また、青少年センターを中心に、街頭指導や巡回指導などに取り組むとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、子どもが不審者と遭遇した場合に備える「駆け込み訓練」を実施するなど、学校・家庭・地域と連携し、子どもの非行防止や登下校時の安全確保に努める。</p>	A	A
15	学校給食	<p>学校給食については、引き続き衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、地場産品をできる限り取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努める。</p> <p>学校給食費については、令和6年度においても据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行っていく。</p> <p>また、学校給食センターについては、令和11年度中の供用開始を目指し、室蘭市と広域設置の合意書を取り交わしたところであり、令和6年度については、基本計画の策定に向けた準備など、具体的に協議を進めていく。</p>	A	A
16	図書館	<p>図書館については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備を進めるとともに、イベントやデジタル図書の紹介、参考図書室の市民への情報発信を積極的に行い、利用促進を図る。</p> <p>また、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ講習会など保護者への読書啓発に関する事業を実施していく。</p> <p>なお、昭和47年開館の図書館本館については、老朽化が著しいなどの課題があるため、その在り方について検討していく。</p>	A	B

IV 点検・評価に関する学識経験者の意見等

○ 確かな学力

「全国学力・学習状況調査」の算数・数学について、毎年、全国と比べて低い結果となっているが、タブレット端末の活用だけではなく、指導の方法について長期にわたってどういうことを各学校で取り組んでいくのか、教育委員会としてはどのように実態把握をしていくのかが重要と考える。

タブレット端末やＩＣＴを積極的に活用している学校とそうではない学校では、学力的な差が出ていないのかが気になる。

生徒の英検取得の割合について、英検の受験者数と合格率というのは、受験者数は増えているが合格率は維持されているのかなど、数値で把握しておく必要があるのではないか。

先日、私が委員をしている小学校の学校運営協議会の話し合いの中で他の委員から出た話で、子どもたちの文字・数字の書き方が乱雑で、丁寧に書く習慣が低くなってきているのではないかという指摘があった。教育委員会としても実態を把握するべきと考える。

○ 健康・体力

評価内容「指導員の派遣」と「体育指導の充実や運動の習慣化」という2点に対して評価しているが、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の項目が1つも入っていない。今回も特に中学生が全国平均を下回っているため、評価の指標に何らかの形で入れていくと、評定もAかBかというところである。評価内容に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の評価等を含めるようにした方が良いと考える。→ 評価内容に追加

健康・体力の向上は、教育という立場でいうと、「これは必要、自分からすすんでやろう」という気持ちを育てていくことが大事であると考える。身近に家庭等で簡単にできるある程度具体的な目標を示しながら、子どもが自ら楽しんでできる運動を指導していくことが体育教育につながっていくと考えるが、具体的にそのような取組を検討して欲しい。

○ 教職員の人材育成

今のご時世的に、指導力向上とＩＣＴは連携した形のものになっていると思うが、根本的には学習の指導力向上というところが重要になってくると考えるため、デジタルに寄らない内容でも指導力向上という指針があった方が良いのかなと感じる。

個々の教員の指導力について、他の教員との交流が教員の技術向上につながったり、精神的な安心感を得られる良い機会になるのではないかと考える。また、様々な保護者や他の教員などとの関わりについて解決できずに退職を余儀なくされて辞めたいという先生がいるなど、若い先生方が現場で苦しんでいる状況がある。そういう若い先生の悩みを解決しようとする場をつくっていただきたい。

最近、問題になっている教職員の性犯罪的な行動などの倫理的な面について、教員の資質はどこで高めていくのかというのが心配な面がある。

○ いじめ・不登校対策

親が働きに行く時間に登校し、遅刻するということが随分多くなっているということ

を学校運営協議会の中で地域の方から聞いた。共働き世帯の増加による影響もあるのかかもしれないが、担任から指導されても反省が見られず、当たり前のように遅刻しているという状況をどのように直したら良いのかというのを学校でも家庭でも考える必要があると思う。不登校以前にそういう現状があるのだと感じる。

○ 幼保小中連携・小中一貫教育

幼稚園・保育所で文字の読み書きの指導や極端な運動を徹底的に指導しているということがあり、小学校へ入学してからの学習に対して抵抗が大きくなっていることが原因であるという話を伺っている。幼稚園・保育所の2年間、3年間のカリキュラムがどうなっているのかを各学校で見えていないのではないかと心配になる。また、各幼稚園・各保育所間における指導方法の統一について把握しているのかどうかが気になる。

○ 特別支援教育

特別支援教育の中で、対象の生徒が中学校を卒業した後、どういう進路状況なのか見えてこないため、そのあたりが見える手立てが必要ではないかなと思う。

中学校から高校への接続について、特別支援学級に在籍していたという情報は高校受験の際に高校への引継があるとのことだが、高校から専門学校や大学へは基本的にそういう仕組みが構築されていない。小中一貫教育の中で、高校・専門学校との接続という話もあったので、もっと良い教育が提供できると思うのでご検討いただきたい。

○ 学校の適正配置

幌別東小学校が閉校になったが、前を通ると元学校なのか雑草畠なのかわからない状態。跡地の整地等について、地域の方が安定して見ていられる状況にしていただけるのか、統合後の学校の環境整備を誰がどのように行うのかを明確にするべきと考える。

○ 文化・スポーツの振興

「学校体育施設開放事業」について、かなり利用者数が多いなと思う。スポーツ・運動をするにあたり、場所が必要だという中で、開放事業というのはかなり大きいものだと改めて感じた。今後とも使いやすい開放事業を進めていただきたい。

○ ふるさと教育

施設を廃止することは仕方のないことだが、施設にある大切なものをどう保管・整理していくのか、一番良いのが何なのかと結論を決めていくと思うが、市民のいろいろな意見を聞きながら進め、文化・スポーツを維持していっていただきたい。

● 全体を通して

今、学校に求められることが非常に多く、学力・体力・食育・豊かな心など、決められた時間で全て学校でやるというのは困難である。家庭に頼みたいこと等もあると思うが、今の子どもの家庭に帰ってからの環境というのは昔と全然違っている。私立ではないから仕方ないかもしれないが、重点項目が結果的に多く、それを網羅するというのが大変であるため、教育委員会としておもいきって実態に合わせて重点を絞り込んで進めなければと考える。

V 評価のまとめ

令和6年度の登別市教育委員会の重点施策として、点検・評価で取り上げた16項目の評定結果は、

A：達成しているもの・・・・・・・・・・・・	13項目
B：おおむね達成しているもの・・・・・・・・	3項目
C：おおむね達成しているものの一部課題があるもの・・・・	0項目
D：達成に向け困難な課題があるもの・・・・	0項目

であり、教育行政執行方針に沿っておおむね適切な教育行政の執行がなされたと考えております。今後も、この点検・評価の効果を高めるために、各種基本計画の内容を再確認するとともに、目標に向かってより多くの具体的な改善策が提示されるようにしなければならないと考えております。また、PDCA（計画・実行・確認・改善）のマネジメントサイクルを生かしたシステムづくりに心がけ、登別市の教育行政の推進に役立てまいります。

VI 参考資料

1 令和6年度 教育行政執行方針

令和6年第1回登別市議会定例会にあたり、登別市教育委員会の所管行政の執行に関する主要な方針について申し上げ、市民の皆様、そして、市議会議員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

はじめに令和6年度教育行政の執行にあたっての基本的な考え方について申し上げます。

今日の日本社会は、人口減少や少子高齢化の進行、情報技術やグローバル化の進展などにより、人々の価値観やワークスタイルが大きく変化するとともに、自然災害の脅威や国際情勢の不安定さにより、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代に直面しております。

このような多様化・複雑化している諸課題を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくためには、子どもたち一人ひとりが様々な人と協働し、社会的変化を乗り越え、自らが共生社会の創り手として成長していくことが必要不可欠であります。

これから時代に求められる、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育成するためには、子どもたち一人ひとりのよさや可能性を引き出す教育を推進し、その成長をしっかりと支えてまいります。

以下、令和6年度の重点項目について申し上げます。

はじめに『地域とともにある学校づくり』についてであります。

本市におきましては、近隣の自治体に先駆けて、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進する中で、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちを育んでまいりました。

令和6年度は、「地域とつながる創意ある教育活動」を展開するために、学校運営協議会を活用した地学協働を推進するとともに、各小中学校の発想や工夫を活かして、体験的な学習を重視した「ふるさと登別」を知る様々な取組を充実させてまいります。

一方、学校週5日制が導入され、市教育委員会が主導して10年間実施してきた「土曜授業」につきましては、子どもたちや保護者の負担感、部活動の地域移行や教職員の働き方改革の推進など、学校を取り巻く環境が大きく変化している現状を考慮し、全市で統一した実施については見直すことといたしました。

次に学校教育についてであります。

「登別の特色ある教育活動」に注力し、郷土の魅力に触れ、「ふるさと登別」を誇りに思う心を育むことを通じて、これから登別の担う子どもたちに、一層の成長を促すための実効性ある教育施策を総合的・計画的に推進してまいります。

『確かな学力』については、子ども一人ひとりの特性や学習進度、興味・関心等を踏まえ

た指導方法や指導体制の工夫・改善を進めてまいります。

また、子ども同士や多様な他者との対話を通した学び合い活動を推進することで、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させてまいります。そのため、ＩＣＴの強みや特性を効果的に活用し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や、思考力・判断力・表現力を育成してまいります。

特に、「全国学力・学習状況調査」の結果から本市の児童生徒の課題となっている「算数・数学」の学習支援として、まずは小学4年生から6年生までを対象に導入している算数学習アプリの活用を継続し、学習内容の確実な定着と学力の底上げを図ってまいります。

英語教育については、令和6年度より小学5年生から中学3年生を対象に「英語」のデジタル教科書が導入されることから、従来の授業とＩＣＴの活用を組み合わせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげてまいります。

また、通常の授業はもちろん、夏休みや冬休みにおいても、児童生徒が1年を通して外国語指導助手ＡＬＴとコミュニケーションをとる機会を設けることにより、日常より英語に親しむような環境づくりを進め、「聞く・話す」活動を充実させてまいります。

望ましい学習習慣の確立については、指導方法の更なる工夫を図り、子どもが自己調整しながら学習に取り組む態度を育成してまいります。また、ＩＣＴ端末の活用にあたり、情報モラルを含む児童生徒の情報活用能力の育成に努めるとともに、日頃からＩＣＴ端末を持ち帰ることで児童生徒の主体的な学びにつなげ、家庭学習の定着を図ってまいります。

『豊かな人間性』の育成については、学校行事や学級活動、児童会・生徒会活動を通して、子どもの意見や人権を尊重し、よりよい人間関係を築きながら、自己存在感や自己有用感を育む取組を続けてまいります。

また、キャリア教育を推進するため、地域資源や地域人材を活用した体験活動を重視し、「ふるさと登別」のよさを知り、理解を深める教育活動に努めてまいります。

『健康・体力』づくりについては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果からも体力の低下が確認できることから、小学校へのスポーツ指導員の派遣などを継続して、体育指導の充実や運動の習慣化を図り、体力向上に向けて組織的に取り組んでまいります。

また、規則正しい生活習慣を身に付ける取組として、家庭における「早寝早起き朝ごはん」の啓発、「登別市ケータイ・スマホ3つのルール」について周知徹底するなど、児童生徒の健全な心身の育成を図ってまいります。

『教職員の人材育成』については、実践的指導力や専門性の向上に意欲的に取り組む教職員の育成に努めてまいります。

そのため、教職員同士が互いに研鑽する機会として、これまで同様に、登別市教育実践研究奨励校や登別市教育研究会の活動を支援してまいります。

また、市教育委員会デジタルフェローと連携し、ＩＣＴを活用した指導力向上研修に取り組み、校内研修等を通じて成果を広く還元してまいります。

教職員の働き方改革については、ＩＣＴを活用し、保護者との連絡体制のデジタル化などの業務改善を行い、時間外在校等時間の削減に努めてまいります。

『いじめ・不登校対策』については、児童生徒がいじめ問題や多様性を尊重することについて、自らの意見を表明する機会として、令和3年度から実施してきた「鬼っ子フォーラム」の開催や「ピンクシャツデー」への参画を通して、いじめ問題への意識が高まってきた

と考えております。令和6年度も「みんなが通いたくなる学校づくり」の取組を引き続き推進してまいります。

また、「SOSの出し方に関する教育」について、令和5年度は小学校でロールプレイを取り入れた授業を行うことにより、児童の意識の変容が見られてきたと受けとめております。令和6年度は中学校でも授業を展開し、本人や友人の悩みに気づき、身近にいる信頼できる大人に早期にSOSを発信できるよう、取り組んでまいります。

一方、教職員は悩んでいる児童生徒にいち早く気づき、声をかけることなどが重要であるため、ゲートキーパー研修等を実施することで教職員のスキルアップに努めてまいります。

さらに、「登別市いじめ・不登校等対策会議」や「生徒指導担当者会議」での事例研修や情報交換を通して、いじめ問題・不登校の未然防止や早期発見・早期解決に向けた組織的な対応を継続し、教育支援センターの役割を明確にして、不登校となった児童生徒に対する個に応じた支援を推進してまいります。

『幼保小中連携・小中一貫教育』については、「登別市幼保小中連携協議会」や「登別市幼保小実務担当者会議」を通じ、円滑な学校間連携や接続を実現するために、相互参観や教職員・子どもの交流を継続してまいります。

また、「登別市小中一貫教育基本方針」に基づき、各中学校区で「目指す子ども像・15歳の姿」を共有し、小中学校9年間を見通した学習指導や生徒指導の充実を図ってまいります。

『特別支援教育』については、登別市教育支援委員会などによる教育相談の実施や関係機関との連携により、幼児期から切れ目のない一貫した支援体制を継続し、個の特性に応じた指導・支援に努めてまいります。

『安全対策・安全指導』については、昨夏、胆振・日高地方にはじめて熱中症警戒アラートが発表されることを受け、児童生徒が少しでも涼しい環境で授業を受けられるよう、各小中学校の普通教室に移動式スポットクーラーを導入したところであります。

さらに、北海道教育委員会が長期休業日に関する学校管理規則を改正し、全道的な夏季休業期間の延長が見込まれるため、登別市においても見直しを行うこととし、令和6年度については、

校長会と調整し、夏季休業日数を30日、冬季休業日数を20日とすることとしました。

また、防災教育の一環として、学校が実施する避難訓練や一日防災教室、フェーズフリーの考え方を意識した日常的な取組のほか、災害等が発生した場合に児童生徒自らが適切な対応がとれるように、危機管理マニュアルを常に見直しながら、事故等の未然防止に向けた教育活動を推進してまいります。

『学校の適正配置』については、令和7年4月に予定する、幌別小学校と幌別東小学校の統合に向け、授業や学校行事での交流を通して両校児童の親睦を深めながら、不安なくスマーズな学校生活に臨めるよう、着実な準備を進めるとともに、幌別東小学校の閉校記念式典については、令和7年2月15日の開催を予定しております。

一方、幌別中学校と登別中学校の統合については、地域の方々に長期間にわたり議論を重ねていただいた結果、令和9年4月に統合することを決定いたしました。令和6年度は、両校関係者で組織する学校統合委員会で、統合の基本条件を整理し、通学方法や特色ある

教育の取り扱いなどに関して議論を進めてまいります。

また、近年の登別市の出生数の激減による少子化の加速傾向を考慮し、平成26年5月に策定した「登別市学校適正配置基本方針」の見直しに着手してまいります。

次に社会教育についてであります。

市民一人ひとりが、生きがいをもって自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向けて、各種施策に取り組んでまいります。

『文化・スポーツの振興』については、「第3次登別市スポーツ推進基本計画」及び「第3次登別市文化振興基本計画」を策定し、市民がスポーツや文化芸術に継続的に親しむことができる環境づくりを構築するとともに、世代や団体の垣根を越えた地域とともにある文化・スポーツの振興に向けて、関係団体相互の連携の強化と役割の整理に継続的に取り組んでまいります。

また、中学校部活動の段階的な地域移行の推進については、令和5年度から試行的に取組を開始したところであります。今後は学校関係者等と連携して「登別市地域クラブ」を運営する一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団を支援するとともに、新たなスポーツ・文化芸術チームの休日の活動や先行して実施している野球・サッカーチームの平日の活動に取り組んでまいります。

『ふるさと教育』については、「郷土資料館」や「のぼりべつ文化交流館」の在り方について検討を進めてまいります。

また、郷土資料館の歴史資料について、学校等での学習やまちづくりなどで幅広く活用されるよう、デジタルアーカイブ化を継続推進してまいります。

アイヌ文化の振興については、知里幸恵関連資料のレプリカを製作し、郷土資料館等での展示の充実を図ってまいります。

『青少年健全育成』については、子どもたちの健やかな成長と豊かな人間形成のため、親が相互に学び合う場としての「家庭教育学級」を通じて、子育てに関する知識や望ましい生活習慣などを学ぶ機会を提供してまいります。

また、学校・家庭・地域と青少年センターが連携し、街頭指導や巡回指導などを継続して非行防止に努めるとともに、「こども110番スタディちゃんの家」を活用し、不審者と遭遇した場合などを想定した「駆け込み訓練」などを実施し、登下校時の安全確保に努めてまいります。

『学校給食』については、引き続き衛生管理の徹底を図り、安全で安心な給食を提供するとともに、地場産品をできる限り取り入れ、ふるさとへの愛着が深まる献立の提供に努めてまいります。

学校給食費については、令和6年度においても据え置くこととし、保護者に対する間接的な経済的支援を行ってまいります。

また、学校給食センターについては、令和11年度の供用開始を目指し、室蘭市と広域設置の合意書を取り交わしたところであります。令和6年度については、基本計画の策定に向けた準備など、具体的に協議を進めてまいります。

『図書館』については、質の高い魅力ある図書館を目指して、資料の収集整備を進めるとともに、イベントやデジタル図書の紹介、参考図書室の市民への情報発信を積極的に行い、利用促進を図ってまいります。

また、「第4次登別市子ども読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ講習会など保護者への読書啓発に関する事業を実施してまいります。

昭和47年開館の図書館本館については、老朽化が著しいなどの課題があるため、その在り方について検討してまいります。

以上、令和6年度の重点項目について申し上げました。

市教育委員会としましては、社会の持続的な発展に向けて、自ら学び続ける人材の育成と共に学び支え合う社会の実現に向け、学校教育・社会教育それぞれの役割を明確にして、学校・家庭・地域・行政による連携・協働を推進してまいります。

市民の皆様並びに市議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

